潤色無村七部集 全

其雪影　明烏　一夜四五仙　樵李
續明烏　五車反古　花子菴

俳諧

蕪村七部集

書肆

信濃屋
玉仙堂
積樹堂
玉仙堂
園

世にこゝろ深き人の著作にあるを見あつめて小冊とし夢の如き浮世ひろく見せんとす

つゝまこゝろをいたしあるを書きて有くる

文化戊辰春

景文画

蕪村翁乃門は与謝名は宣しいろい
ろと春望をとゝのへて秋まつをと称し
とうかやまとは拙門の人乃ものが手武て
作るわしに風雅にうとき人とをもへり
酒くゝ長くとくとくして唐伝にてやば好事の徒
俳諧くゝとやるれこの門のものゝ作業なる
はるゝ井のほうゝ画とゝとうれ拙京所ようつ
芝蕉翁と一名をもつて全役をもつ遠門
俳諧画事ゝ門人解一とゝ世よ時る門人解一とゝ
ゝ一大所ゝ人のゝ癸卯十二月に浪
ゝ中興乃首唱ゝとゝつゝ

其雪影序

今や上達部より下賤迄りおよへさす俳諧
せさるものなし これか中に一家をもて云する
猿せるくことなきなかりし京都の住三四
桐をよ居もつともつくの人ともし三四者が誰
乃圭女人翁を願せり圭ちうめ巴人菴乃
門に遊びくるれ真率に倣それおきくら
其菴の従よ更かて其聲牙に化せられを猶
俳諧率緒をもてしくうまず姿情を燕せり
さらつい小説の寄なるにくい諸史のめてる
きえわくし與あるらさし圭ちうくまうさ

圭なるものあれ人或さまりし人情世態
のありしに句を得よい則云圭流なりとて
ころあくて一家乃論つきぬらし十三四
其子乃董小冊子を編して父乃魂をまつる
世乃追善集つくれるれやうらず なふら
ち執雪青蓮の句をもあ次第くに寄ふ
醜肉のかうを捨へ魚肉蘋蘩雑組うして供
まつるものならし 余曰ちなし文又ち意くされ
閑室にこもりせらしてやあやうにも金隣を
そらわされ猿名さらしく 尼法師ちうくされ
付へさあやしく着ふくれうしんありゐ窮

骨床を支ふとも、かゝる時ハ眼うち
くほミうるうたにてるこそ、これ識者ハ
なミし。何れ乃萬ハ是此篇其幾乎

明和壬辰秋

夜半亭蕪村書

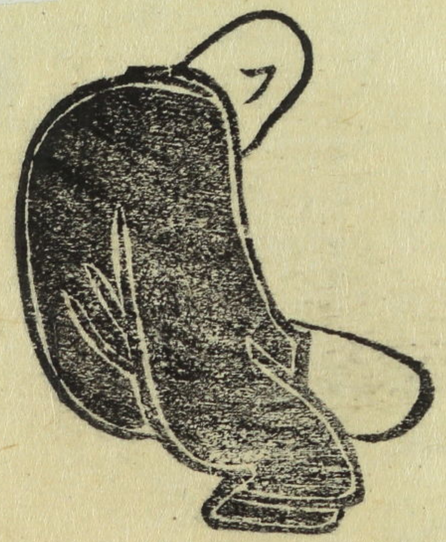
晋其角

稲妻や
きのふハ
ひかし
けふハ
にし

古今和歌
集序註
[illegible]

芭蕉翁

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



雪中庵蕉雪

郢月泉巴人後以巴人為菴号
更名宋阿別
号夜半亭

高几圭後更名
宋是号几圭庵

夜半亭蕪村画
門人高几董書

其雪 四

晋子雪中の舊菊乃羽実ふり晋る雪中
の巴人菴宋阿の左右に師と門史の又
先人の肖像を置て其系譜の正きを
もて師乃為と然るに
牛の肖像を置て其系譜を
先人の肖像を置て
を捨て又の夜と
ともうる

几董

ゆくしの浦に漕ぐ舟木末の花　子曳

薄つきそめ茂るを見て　恒九董

おきくのもとにきゐる翁をまつらん

竹ぶかくさわぐ飯乃胡伴　曳

浮世舟の定めなきをいふ

ウ　こゝの隅にうたゝいふ素　董

寒猿を南方に故事をつゝ居

花ゆゑにたゝくさゝ動定　曳

三日月に蓮をとゝのゐ炉ふる　董

ゑりをうつ　曳

世冬ハこちの梅も咲そめ董
る枝の袋ハ[illegible]うらなり曳
ま尾ら信りに[illegible]董
望の辛忘の俳[illegible]曳
[illegible]月ハ[illegible]天氣董
望のうちら[illegible]曳
ま[illegible]董
祇園[illegible]曳
十
[illegible]董
新ふら俳名二合ま手董
俳[illegible]の用に禪を[illegible]曳

其雪

盟のうちとうあれ石菖夢
物のうしろ[illegible]曳
[illegible]ハ米春[illegible]董
ちうと雪[illegible]曳
ぬの[illegible]董
ま解の良ハ[illegible]曳
[illegible]董
[illegible]曳
うう[illegible]董
ま[illegible]の[illegible]
[illegible]ら[illegible]ま[illegible]
[illegible]十八曳

[illegible] 董
[illegible] 曳
[illegible] 董
[illegible] 執筆

[illegible] 蔦村
[illegible] 一番 几董
[illegible] 竹護
[illegible] 村
[illegible] 董

日紀も唐に[illegible] 護
[illegible] 村
[illegible] 董
[illegible] 護
[illegible] 村
[illegible] 董
[illegible] 護
[illegible] 村
[illegible] 董
[illegible] 護
[illegible] 村

用の事ハ鼎の如くなり　董
疱瘡神の小さきもの　護
土佐弱に光麗く鎖　村
五日の風の吹くなり　董
かつけの干ものは粒なり　護
書紀も典国も殺桑の作　村
粒ものは又蓄を冊　董
為い人質の吹なり　護
一奏吹れ為を情て　村
高平の蓄の裏　董
ゆきたの自然千歳　護

貧乏村子鹿を追人聲　村
肌寒わ尚の疝氣樓を為　董
ウ
ゆきは御う二人中まる　護
出家平畳飯成に行　村
洋ゆくれ仕舞八寿　董
徒ひも胃の強ると旅ると　護
今年為を指ん大音　村
忌二代ゆく色書付ゆく　馬南
まれふうの茶門苣　執筆

巳又十三回懐舊

うゝ之の

曉ゝ[illegible]

明和壬辰之冬

小子高儿董拜書

か[illegible]

宗河

鄭乙

山出し[illegible]

儿面

右夏冬一紙両筆の反古ハ高子舎の
匣中ゟ藏し[illegible]と今追善の後ゟ録

春夏之部

藝村　八董

子曳　為拾

移竹　八董

旦尒　一扇

出うつりの雪くれたるこゝろ　太紙

暮春

ゆくすゑの書きもの日数れ　五律

日ぬすをはるこのもの　斗文

うたゝねよ徒三度やもちのあ　九重

あるやうるはしきこゝろ　朱英

ゑをしたしく笑てふる蓑れ　壺角

人いきと暖かなる桃きれ　牛行

りもやの竹のゆるに成にくり　烏西

雪やまに千鳥りもと　百池

苔代やあるれ神稲の葉　八鈴

臥龍梅とゝふ

んつやさ京をとゝうの梅のあるる　分該

ふにくるやの京をとゝうの作馬信　藝村

山うきやの菜乃むぬ長をるる　馬南

夜んつやの酬花のゆふ三ゝうん　八董

詩ゝ行よ口も酔ゝるんもれむ　九湖

ゝ門と作の竹く月れうあ　南雅

つゝゆやの作うゝむ所乃松　鼓舌

水ゝ原ゝて梅ゝるやの飛月　三峡

一里ゆき二日の作山ゝるゝか　三四坊

門詩乃梅ゝくく作うあ　鄂里

[illegible] 乙仙
[illegible] 一蘭
[illegible] 矩州
[illegible] 如本
[illegible] 子鳳
[illegible] 李完
[illegible] 蝶夢
[illegible]
都方[illegible] 羅江
[illegible] 儿董
[illegible] 宋屋

[illegible] 武然
[illegible] 十六 紹簾
[illegible] 舞雪
[illegible] 祇空
[illegible] 管鳥
[illegible] 德國
[illegible] 藍村
[illegible] 春武
[illegible] 晋才
[illegible] 土髮
[illegible] 儿董

ちはやぶる神の御代にかかりけり　エト　柳居
盃もうかべ　杜冊　嘯山

歌仕

蛇ぬけのうつもれぬるかな　杜口
人ふるいとゝ戸とゝ　鳥門
森〻〻ぬいうたるの人ゝ一杯後　和流
門下に能はもとゝ蔬食　光甫
毎年の長遠百年ちつよ　三角
ちくんちとゝ月ぬ　春海
雪ゝ世い行文積んゝ角　十拾
ちゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ　兎足

朝上ちゝて可也とやきん　初鶯　沙月
うやり大の鶯ゝ　二人　水翁
ゝゝとゝ　由福
時ん乃一言ゝ　呂波
ゝゝ　維駒
蓬ゝ　羅雲
千　東武　泰里
梅の木ゝ　五律
業加ゝ
小豆餅　青畎
撞ゝぬの　子曳

自笑　鋏僧　九董　馬南　来爾　曲室　九湖　奥赤　九董　百池

蕪村　竹護　匡英　如本　芳光　明五　文皮　德野　渡牛　釣丈　九董

[illegible] 周禾
[illegible] 柏延

閑悲

[illegible] 太祇

書窓懶眠

[illegible] 蕪村
[illegible] 几董
[illegible] 春山
[illegible] 啄眉
[illegible] 弧相
[illegible] 几董

[illegible] 李珠
[illegible] 五始
[illegible] 風狀

[illegible] 仙鶴

秋冬之部

[illegible] 飄水
[illegible] 社口
[illegible] 徳夷
[illegible] 五友

[illegible]　菊溪
[illegible]　古槃
[illegible]　有閑
[illegible]　万翁
[illegible]　儿董
[illegible]　斗文
[illegible]　子曳
[illegible]　自笑
[illegible]　倭雨

市中

[illegible]　儿董

[illegible]　肅山
[illegible]　雅因
[illegible]　爾遠
[illegible]　李遠
[illegible]　也好
[illegible]　旦尓
[illegible]　諭子
[illegible]　儿童
[illegible]　竹護
[illegible]　孤舟
[illegible]　青映

名月や行末くの雲ふく人の雲　南雅
福寿草天門とあけし秋のくれ　樓川
ひ六つとさすまの稚子ちりの色　田女
名月や行くる嵯峨引ん　多少
明月やうつくしき稚くうり　京喜
ぬうつくしくふくとうりの月　嘯山
名月や爰のこゝの鼻乃光　嬰文
栗ひろもゆしれ度中国の岩　白麻
名月やそのし南堂ふりなる　張雨
高ゝ行乃背ふるさと月ぶ　二負
蔓もの不咲ふるりけさの秋　春尓

天地乃ふくとふん市乃秋　舞閣
ひ〳〵ひ首一ともゆ秋の雨　凡董
雨もの小町ゆ里中ゆ水　蕪村
ゆきの日や迫江の稚も寂ゆる　雞人
ゆゆゆや御乃ふ乃ふ乃ふ　凡圭
見足ゆとゆゆ雪ゆゆゆゆ　雅因
徒稚師閑も咎ゆ沢中ゆ　雁宕
寫をもしゆゆ月ゆし已う門　太祇
貴法へもふ筆ゆゆ女支ゆ　呂波
明ゆ行ゆゆゆふゆゆ秋　田福
夕ふ乃ゆゆれい翻ゆ稚ゆゆ　蕪村

[illegible]　子曳
[illegible]　斗文

旅行快天

[illegible]　ル萱
[illegible]　馬南
[illegible]　為拾
[illegible]　五律
[illegible]　太紙
天津[illegible]　虹竹
[illegible]　山笠
[illegible]　之房

夏瘦乃[illegible]　[illegible]
[illegible]　三貫
[illegible]　女
[illegible]　白麻
[illegible]　冠雲
[illegible]　呑柳
[illegible]　丶
[illegible]　反二
[illegible]　太紙

[illegible] 必化
[illegible] 蕪村
[illegible] 漆翁
[illegible] 波光
[illegible] 梶序

[illegible] 加舟
[illegible] 風流
[illegible] 斗洲
[illegible] 八董
[illegible] 竹袁

[illegible] 土九
[illegible] 猫帳
[illegible] 斗文
[illegible] 賀瑞
[illegible] 柳女
[illegible] 霞吹
[illegible] 蕪村
[illegible] 東武 龍眠
[illegible] 巻里
[illegible] 阿雄
[illegible] 買明

太刀打に雪ふこうんてうをゆく　旨原
四布五布為れうれあのうてんか　存義
ゆくうれうれうくの枝を踏みうれ　大坂　三蝶
雪ふ冬いまうふわりやう　漁焉
賞してひとうふうれ嵐か　来雨
ほうとうありて憐まして唐貴　曲室
千い春を雪ゆきうれ里須　芦官
俳業乃又春の美をゆり茶　来之
わしの行ふ清を弁根ら　盛住
ふてうれふ山を春しうれ　闌し
石行平雪ふれ中ゆきうく月　嫩艸

夏腐枕森ふうれ中ゆき金仏　有種
一行ゆきうれうくしうれ　大坂　暮牛
うれうれの行ふうれ美ゆり中雪行　麗幻
ゆうゆきう今和い緑乃麦門そ　隨古
ふてうれうきまうふ南森新
行野のうふふ四今の清か　必化
春ふよ行ゆりゆ中れうれ　多少
ふうきゆ乃栖中大ふうう　移竹
迎ふしれうれ中ゆうれ　竹護
雪ゆう
早子の光へうれうれか　子曳

風に乱れてそうの庭中まつの雪　九蓮

ちりて為柳ちんやたゝしくれぬ　宗長

あつと間しろきまし枯の雪

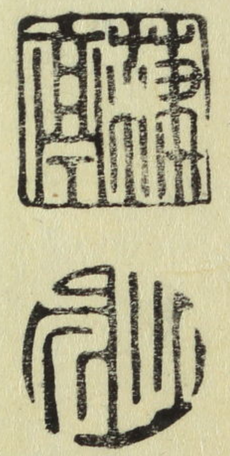
既に暮るまとまとしくれ　宗阿

くれ雪中雪ふる月和

跋

凡主人ともて師とせしく俳諧の道に深
く社るこゝろ俳諧をもてなすこゝ
しめ他といか国乃ふとせるこゝろ人
ちなに悦るにつりてやとこゝ古縁まを
こゝろ者しわるこゝろ五人集つゞ会せて次句
せしこゝも度しこゝにやまれまるこゝろ
宗鑑さまはるこゝろ所ふこゝいあう
解れてこゝろこゝ所そんこゝの今も耳ふ
残こゝ世文ふ自得せこゝまこゝ
せ為ふこゝ人こゝこゝ今年董よう

其白きてつてとゐせる老こんこふ迫ころ学り
きてたゐにゐる梅路帝国つ幸乃迫たりてこゐる
白乃酒きゝ〻石清の中くゝゐ安り実ゝし一能安
ゐりゐゐ且ゝ手且ゑ歳と懐ゝし学きゐれい
わゐゐ軒端にちゐ紀て秋芭蕉ゐり中ゐゐる
風乃手のれしゐ手紙ゐて其学れ自のくゐて
ゐ是れ窗に行入侍も亦ゐれのゐゐつ中
乃秋の十三夫文人畫山事



[illegible]
俗流なる易流の伊法いらくの書に流りて世々に
[illegible]々の風流衛変化して其流ひふとまるを前ムあり
[illegible]も都て蓋翁の光とする
乃一[illegible]止まる所半の世常ふ和[illegible]今[illegible]
[illegible]のもの蓋[illegible]其[illegible]や義乃皮肉を
[illegible]て甚形骨を[illegible]附[illegible]
歌[illegible]松の[illegible]高帽[illegible]
[illegible]の意[illegible]の[illegible]
[illegible]船を用[illegible]
[illegible]の[illegible]光を挑んと[illegible]神風[illegible]の義も

[illegible]流の一派なる[illegible]
多[illegible]加賀州中小天和政寛の頃より繁[illegible]る一派を
年[illegible]の[illegible]の蓋風を志者[illegible]
[illegible]回志[illegible]庵場[illegible]
[illegible]の[illegible]再[illegible]其流[illegible]
方[illegible]に[illegible]一[illegible]庵中ふ[illegible]古を討編一[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の前尾と[illegible]と[illegible]
[illegible]の一声に[illegible]
[illegible]
[illegible]句の[illegible]を[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

安永癸巳[illegible]秋

高九董書

[illegible]
橋[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

九董

窓乃南　馬南

董

南

董

南

董

南

計無月ぞわき八人のゆかしとし　董
まろんのうさとくり抱ゆく　南
阿彌しうらぶれ法界の骨　董
くゆ殺されし蛇乃ゆかり　南
足跡の幸くゆれる出で町に　董
亀棚乃灯の消えんとする　南
新のつき月ゆしかる風荒て　董
ふらくおそまる笛乃一聲　南
ヲ 清士人の情か薪く砂乃上　、
小秋よしせく道乃茶内　董
大雪の跡さりけなく晴れてより　南

肌是ゟし成ぐくる傾城　董
川の瀬乃流乃うらくさ浪荒よ　南
七ゆまに満る首の花ろみぬ　董
案乃弓蓬の矢寺驚くなり　南
弟よろし楓林やえらしん　董
うり桃あの土秤月うれて　南
酒乃佳境に浪枝と客　董
ふつのゆうふ冠者いまとろ行し　南
とし許名郎のさるしと消　董
ツ 賀是往ん門田の家苗凡さる　南
行ゑるく一群乃鷺　、

この歌も正八幡と同じうたふ　董

河乃辺なりける節もなれるゝ

ちくさ咲てわたりの花よ惜んゝ

名残をくとちるを乃ち　南

春三月於高子会興行

山ちの滝ゆるゝて堂うゝ　九湖

梢ちきりる庵れ去尾　キ董

紅人の物のうらうふ　路曳

杉の葉乃白れゆゝ　万容

根ケ門の流るゝ夏の月　嵐甲

ウ

園村ゝとうしろみてくゝむ　芦角

小ゝ生人軒乃瓦の苔うゝ　雄尚

昼うゝ竹ゝ小ゝ遠ゝ雪　湖

大津ゝ廊の雪と成ゝ　キ

ゝうふ流くゝものゝ乃和　甲

つれしと砌よゝ苔ゝ掃ゝて　容

ゆくゝ掃一葉ちくゝ　曳

ちゝ折ゝ白ゝ雪ゝ角の下　角

ゝ雪ゝ稚ゝ芙蓉乃義　尚

栗栖野平田を右ゝ流酒山　湖

勝と減しふうゝしとゝる　キ

尚
容
曳
甲
キ
角
甲
湖
甲
曳
湖

尚
容
角
曳
甲
尚
キ
容
角

夏如月朔日時會

天竹梅の梅も入らんとすらく　魚赤

恒乃ちふるふる年とせ　九董

さのうた駒牽つゝ振ふ也　土丸更　梁風

角力とり呼んてくるきゝの名　竹裏

中れもすちちの昼の月　春蛙

隙ふ四れい蘭のふらく　桃牛

勅宣の撰集半成就しぬ　布立

睡ちゝ　俗白髪ひとち　赤

花ちて岩間の掛ぬ　董

西ちしとゝ　風

裏つけ乃重ね長堤　裡

秋うまふる　春

雲を乃ちも　牛

裏い隠左へ　立

梵論字て詩の巣新顔也　赤

猿ち　孔しちちゝ　裡

とちゝて月も出ちる乃高　立

ちゝ　風

僧道伝法　春

仮名ちて　牛

月ちゝの稿い著作に行ちて　風

千鰯乃市と吹送る風　菫
惟子の翔もとまる雪の峰　裡
ちとせ下紐とく女あり　赤
乃ぞ不面目もあき魚の国　菫
須へもゆむ新食乃中　裡
秋くもとあり別る四季哀　立
業こうたえる室乃華　凡
光俥のふ役しけきれはの月　牛
前毎きく厂とる春　春
飛むむ乃祈酒をちつふ下ける　赤
脇へうけく痴氣引はる　立

形の雪ちりとる岸　俳
栗雀乃俳と秋くれん　牛
蕎くくるをちて花葛　裡
うりきてとる春紅日　凡

四季混雜

不二ひとつ望みてまこと　蕪村
蜂乃巣よ虻の作る業ふ　九湖
ちけりの中ふ稲乃夢　魚赤
ちとせ大のちちに勢深門　竹裡
衛ちとる和門須　万容

[illegible]　キ董
異国の僧もみちを蓮[illegible]　嵐甲
[illegible]　路曳
酔て[illegible]　キ董
[illegible]　芦角
[illegible]　布立
[illegible]　亀公
[illegible]　雄尚
[illegible]　梁丸
一頭[illegible]　馬南

三[illegible]　子曳
酒[illegible]　ル董
[illegible]　挑卜
[illegible]　春蛙
[illegible]
[illegible]
春の[illegible]　鶯村
[illegible]　キ董
[illegible]　烏西
[illegible]　白炎
[illegible]　百化

[illegible] 我則
[illegible] 田福

自梅

[illegible] 多少
[illegible] 五雲

市中

[illegible] 浦い中魚の店 弧舟

[illegible] 儿董

夏冬

[illegible] 大坂 万翁

[illegible]

[illegible] 蕪村

峡中帰

[illegible] 五律
[illegible] 斗文
[illegible] 子曳
[illegible] キ董
[illegible] 也好
[illegible] 雑駒
[illegible] 儿董
[illegible] 武 西羊

晨露の揚屋出たりけさの秋　越後　一吾

千解日

さゝたれ手拭も通りけり坊　仙臺　文芝

笠の露も秋乃旬かや青の夜　備(?)　香溟

其中乃ひとつ〳〵も花よ几巾　大坂　舊國

稲もとりけてもちきよう〳〵柳かな　伊勢　宗居

悲しみの味ゝを待入雛かな、　肴白

いなつまや風情を翁と月の雪、　花紅

名も味ま吹ゝ雨かまたに日の多かな、　故逢

霰深く華しの花乃井ひかな　うけ　蘭讃

初蝶乃出もうぐいすきを毎あらし、　素後

陰の月ありくら乃さかえるかな、　桂舟

閑さや花よこちてる、庵の月、　茶加

辛みなくて物をなつかし夜雪かな、　羅父

題閑居

梅うに咲より梅乃苔日かな　いせ　楞良

んぬ哉さし十日に見るよ有花かな　名古屋　暁臺

蓬葉の字も常ゝ翁乃宗旦え

ひしきやいせのくゝりも不かゝるゝひ　几董

柿乃月をわきくもる乃名残かな　馬南

まのまや枝常しる庵かなもの町　嵐山

[illegible] 蕪村
[illegible] 晴 [illegible] 世地 鳳醬
日の [illegible] 里 [illegible] 秋の [illegible] 城布

[illegible] 右昧 [illegible] 句 [illegible] 同
[illegible] 加古川 半捨
[illegible] 六尺 [illegible] 柳の [illegible] 琪園
[illegible] 沼田の [illegible] 五橋
[illegible] 高砂 布舟
[illegible] 梨

尾上稚

[illegible] 兎 [illegible] 馬南
[illegible] 結城 雁宕

[illegible] 蕉 [illegible] 戸 [illegible] 里
[illegible] 存義

同性 [illegible] 蘿音 [illegible] 余日 [illegible] 音 [illegible] 一句 [illegible]

[illegible] 蘿の [illegible] 媚庚
五加木 [illegible] 酒 [illegible] 蘿音
[illegible] キ童
力入 [illegible] 生野 素由
[illegible] 五九
[illegible] 跨仙

山竹中潤岩隠を人は雅　竹也
わらきしらうもの芋の角　涼秀
菜乃宗の一反ひらりらる　東庵
茶行の幅度しとタうて　鬚風
馬帽子きさく人乃新すり花の秋　琴橋
梅の宗一條庵のさんう邪　嘯山
名月や深ちらき清ら　武然
ひらう貧俗くくふ一の花
別絵うて寒ひいちわるも雪結ひ　雅因
月みなてもの年竹州の蔦　秀遊
白蓮中寒ふるる庵のるれ中　南雅

白寒中命ひいちわる結末ふ　来雨
達ア馬を解ふれるやきりしよ　嵐山
風ア貧ないい松乃力う邪　湖柳
中入乃蔦ひたふれ蔦　二負
桜しかる歌し釋迦如来　キ薫
家潮ひ人中ひるも移の無いて　賜馬
燈ヲをのうる燈の命ひる　澗李
潤ひる桜ひけて中雪の峰　宜路
ひる寒無ひ向し浪の端　芦隠
岡ア出てあいふ麓の峰寒ふ　自在
桜自浪のるひりのるれる　徳野

[illegible] 牡丹の [illegible] 管島
[illegible] 文皮
[illegible] 徳圓
[illegible] 舞閣
[illegible] 明五

鹿の子

[illegible] 春師

春夏秋

[illegible] 一鼠

[illegible] 人の [illegible]

[illegible] 董

九月十三夜

[illegible] 二三片 藝村

[illegible] 朱闌

[illegible] 大魯

[illegible] 女

[illegible] 雄山

[illegible] 羅川

[illegible] 蕉風

[illegible] 一氣

勅うけたまはりて行うふ　右源
蟬の声にくも喘ぐ鳥羽殿　寸馬
月ごろの中ごと酒る美濃うふ　亀友
旅人乃互ふ名を惜しむ　哮我
入相はうぬを惜しみ三井の鐘　入江
やゝ入乃山ぶ中絶ふ　魯文
ふ竹や谷一筋乃まつのみろ　五泉
風折しまつ大ふる雲　生佛
不ぶを惜しみつゝ　魚彼
法華ふ乃ぶ惜しむ　二柳
華乃咲ぶ　一鳳

ふまふ乃ぶ舟中夕霧　赤羽
傘乃ぶ乃ぶ　雄山
降ぶふ降ぶ　玉東
ぶぶ平ぶ年ぶ　見道
大佛乃ぶ乃ぶ　二柳（浪花）
うぶた敵の乃ぶと通り　儿童
秋の乃ぶ毋ぶ　、
大風の乃ぶ　寒秀（但馬）
ぶ乃ぶ秋中鹿の夢　直生（越中）
秋一里傳ぶ　麥水（かゝ）

来来ぬるありや徐生の竹の声

浪華晩鳥

笑菜さし蔓こして西乃海　一音

果ありやいかにかねても啼蛙　暁臺

中くにしきても落ぬ秋のくれ　樗良

扇ものふ手折る志るし女郎花　東武 蓼太

こし岡崎のまもを詠れて

此二句をきく

淡道や松の中より緑とる　蝶夢

三條へ出てこそくれ雨茄子

ひとしらの秋あはれしらしきく

おけ　十五

例のつゝむ庵りよりしふ

宴郷といへる所を探りて

何急く家に帰りもれ秋乃暮　几董

扨つゝ作花とかえのまゝ

春雨やしし小窓うつ羅なる　舊国

淡桜や衛の中へ桜とまま　蝶夢

ちふふ世乃滇かまゝとるゝ風流

をとうりたる庵を国うむし

もろんとふ人のうるとしとかる

三うし　四章をとうつけ作る

傍よのる埒なしまなも一教れ　移竹

みなれまのくもしゝよほとさ沢　太祇

耕てし馬打し男れ娘しけよ　召波

家内乃なら又やも隣乃内　達布
うらさびてくらもゐし　亡父ろ
素そうらし
牛馬うしハ師走のあつて霙ふる　几圭

於夜半亭高筌三十六句

冬くやうけん旅へや古衾　蕪村
夜あらしあかり家来の下、　几董
うち志なよ竹を簀に組合て、
日頃の権兵なれならふくわり　村
さとれの人紙更より重なるら、
風ひやしし僧らるうね　董

あ井　十六

ヶ織多村ゝ待キ子秋乃帘、
施頃の子うれ第ヶ慶元　村
告子に才ある賀や探らん、
之されば迷ゝ家弁の古くさ　董
惚臺を縫ゝ方へうすけ子、
比表楽天江州の目馬　村
法うう雪ねゝ弁を記して、
左小便の蓑くるし　董
京隠や何内統うすむ皆の月、
花蕎斎峰周恨乃横　村
とろく摘ル者菜深く芽むる、

ナ

董

村

董

村

董

村

提器

ウ

董

執筆

一夜四唫発端

秋乃日乃暮かゝりくれかゝりていとゞ物淋しき折
なからも庵の住居もなか〳〵に此所
ありくる虫の声を敲て茅屋の扉中をたゝく
さめんと百鬼夜行の有やしきまさかり出て
うれしき坂みちをわたれは微なれともそれは有る
乃翁耳かしつゝ聞ゐて四唫流行の歌きゝ
にならしはいやよ〳〵ふるそみなつゝ桃裡のことも
ゆかしくも秋の夜もわかれまし無為の夕に秋をと
ふらふ高きの舟の旅をもくれてよそ膝抑のも
いかにとおかみやりや半分むかし頭への出作し

きかせらるゝ也かくて其夜もちかく更て其角庵
　秋の名くれの湖紙半日乃あとかたの料
此ほとりの蕉か翁のつゐのすみかより花塚へ
もあるをみなかたへ白を中ゆるし得させうし
申すうちうつもみなよしにもみれるなる
うちね乃八重にも得もあるにいふを這のあり
つきやう白川きれ女ゆるに倒乃程様入り
すへあるそこう答いこれしるされ菜小豆
餅乃根篇にあるもうしろかきくれとくして
三重の綾のくりれ四色の奇術あり姫
よし作をし恭わるもたにありつしくるまて

よく乃小刺よ引さて柿乃古葉乃古くさきさけ行きあと竹とやらん言ひし人のはつれもあり尺橋なとそゆかりありてよとあらうちきたに此道を記し事橋仙ありけるさせぬ

花洛 執筆庵 蕪村写

四歌仙其一

萍を河岸枯やふうらん許まり　蕪村
風より紙鳶あふ乃ゆふ千　樗良
舟まちて宿とる旅の二日月　几董
紀行乃標様一巻一変　嵐山
貫之の娘みさかなき須磨の中　樗良
半蔀押すくめの子むかへ　蕪村
さよふけて弓法鳴せる侍なかま　嵐山
家もあらし乃春秋をしらぬ　几董
山もと陸中長安古丈補　蕪村

おくせし蓮はうみてありくるき　良
小鳥来てやよ鶯のなつかしき　董
さゝらき乃女は　ゑちご縣女　山
やつき男乃聲清水に補せられて　村
八重のさくら乃前栽一行　董
矢を負し男鹿きて伏せ霧む孫　良
あらし吹く市郭月乃山ちる　村
大龍乃酒ハ沁しう酩になりぬ　董
五人の叙うちみつせより　良
潘仲の多田乃後法は和より紀　村
やうやうの出来し　汁乃白雪　董

松かえハ葛乃花咲のころり　良
馬俳ゆきの死ぬきるりく　村
秋立て帝幸れむりたのくわて　董
述ふる詩乃詩をとうつるるを　良
残なくて望上ま詩を聚めゑ　村
灯をお出る　女　垂髪し　董
許
丞婆りしちるしうる東の雪　良
うさくよ負ふて飯追うて　村
日やけ田もとしへ稲の立伸　董
至乃籍を並へる　月　良
小高人伏しかしたよ惑ふよ　村

相傘をうと堀にさつわる　董
くもりなくつゆ垂れや　良
何為て秋ふくんをする　村
氣深乃花みるやうなる　山
秋不忘賀の山ちくきん　董

其二

白菊に色ゆるる高雲かな　嵐山
ゆるやかなる行さ乃月　孔董
備馬に秋を深くさうて　梅良
陽頃ふりぬ帰乃中なる　蕪村

小晴きし羽ぬき堀乃二所　董
ふるる乃香落ちちりて　山
四位と成きゐ色を　村
弾上の赤ろ色にちるな　良
中垣乃陳子に蜘の二つ三つ　山
ちりくも林乃ふる乃赤ル　董
紅葉を乗ちりかるつる　村
我乃孔ゆるくうるよ　良
雪ふ如ふうと仕ふ憲の月　山
接枝ゆ冬ふすゆ乃秋うゆ　村
ふ出ふうれ出ふる半ふ　董

[illegible]　山
[illegible]　良
[illegible]　董
[illegible]　村
[illegible]　山
[illegible]　董
[illegible]　良
[illegible]　山
[illegible]　村
[illegible]　良
[illegible]　董

[illegible]　村
[illegible]　董
[illegible]　良
[illegible]　山
[illegible]　村
[illegible]　良
[illegible]　董
[illegible]　村
[illegible]　良

其三

戀くらべて行遠のく舟路うれ　九董
離くれて又雄を行牡　燕村
のゝ中の菴ひとつを住捨て　嵐山
芦の葉ゝに月を寒しる　樗良
ふたゝび来へつゝ七夕の月　董
生の選のゆたけ道　山
古仮枕のちゝ離れ　村
うきゝの夕りあやゝ月の　董
ちぎりなき西行の影追れて　良
ゝゝに市ゆくまも仮寝　村

風のゝ宮やゝ初秋の後　山
羽衣の袖へ美濃の後へ　良
半弓の月ちゝ陸奥へて　董
官待の行保ゝ月ゝ　山
垣郭ゝ麦めくゝ穂ふう　村
柳の葉美ゝれの白ゝ　董
秋風の蛍ゝ京の月　良
ひとゝ音きゝ月ゝ　村
ゝゝの中ゝ子の月出　山
名の橋きゝくゝうゝ　良
ゝ郭のゝゝ長き流ゝ　董

良家の恩にかのうらはは　村
竹須乃酒の盃をも旅をうた　良
尾花うもを乃石に失をも　董
山賊乃月夜を嫁とあるらん　村
いつこ乃虎乃ゐ　良
やうとあきうゑつきを国よ　董
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃ゆる　村
来年芋うにに芋にうゑし　良
老うる人乃竹刈りし　董
陰うあよ牛の花ゑりて　村
変化退位乃ゆの弟ゑ　良

生乃わの市門をひらきけり　董
行のいうをうをゑ　村
年のゑ花乃ん男のあうをて　良
ゑゑをと陽うけうゑ　山

其四

花ふうゑゑをををを紀　樗良
やうをゑ乃垣ゑ山吹　嵐山
指新乃猶位のあ　無村
院陽ゑ家ゑ連歌一折　八董
源平に十三ねの月をて　山

盥をれうる門口乃半　良
いみふかし旅乃市俗を遠ふる　董
苦行乃もゝ若乃影うつく　村
日をうるゝ乃に袴一本　良
画具の血乃　山
ゝつゝれが代中に焼くて　村
母ゝゝ上の　董
と加義乃ゝ乃ゝ　山
義の中ゝ乃　良
白袋乃被うゝて　董
ゝゝ作の祇毛月みて　村

ゝゝ乃ゝ乃ゝ　良
祇ゝゝんゝ　董
春園子三日の粮ゝ　村
遊ゝ　良
織立のゝ　董
ゝゝ　村
ゝゝ　良
新墨霊の給仕ゝ　董
給仕ゝ乃ゝ　村
月ゝ袴乃旅の笛　良
世のうゝ乃人の　董

頭ラ井まくら　みるとしよ　村
報乃新に　もちかと　送うまつよ　良
もけすとの　れ乃　もを　董
のくちふ　病りてもたの　白つも　村
毋乃　剤　菱乃　ふ　ふ　良
帰　鳥　紙　ものく　乃　和ふん　董
くれの　街と　水　たうれ　ものを　良
菱　ものの　ふ　ふ　村
と　ものの　解　も　ふ　筆

安永癸巳九月　晋作

郭うへ　雅　貫う　樊　ふ　ふ　ふ　ふ　し　ゆ　す
きたれ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ゆ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

わよせてこの月行くすえを見てこれぞ海
淋漓たるべきの乃一帝艶を海し十方
一句を吐所謂狗尾を
すると門下の二三子才二分四つけ
やうく三十六句にてちらばるこの日へ
に所くの月花もの筆と歌筆と歌妹
懐乃歌と謝をくしたる

壬寅皐月　無付誠

花筏帖

浦里のちくく笑ひ海苔の味　大石　士川
花をしらく笑ひ六十八九　浪花　雄山
むら乃衛ようう乃武蔵や文月、　延年
蔦蘿やうくまちきれ　大和　河来
くくきりあはと仕舞の筆乃　大石　佳則
笑ひむちくくに志ちこの月　胡柳
春さくくれそうふ笑ひ風筏　宇治ノ人　野菊
さわなくく脇いつりくる山さくく　丹三郎　東潛
春うゑれくくりも陽くやく筏、　路景

[illegible] 二百 やそと 如水

[illegible] 一樹のさくら 大和守明

[illegible] 月ちの [illegible] 正巴

[illegible] 湖富

[illegible] 十八 [illegible]

[illegible] 大名 士喬

[illegible] 我則

[illegible] 熊二

[illegible] 佳棠

[illegible] 弓琴

[illegible] 青荷

[illegible] 古如

[illegible] 女 [illegible]の

[illegible] 金算

[illegible] 春坡

[illegible] 心頭

[illegible] 銀獅

[illegible] 女 小いと

[illegible] 管鳥

[illegible] 几董

[illegible] 松化

[illegible] 雪居

あさくらふ　東を追ふ　磯の郭　是岩
鄙人乃男　作てさくらを　舞鶴
さくらを　咲中や　無支の飯　宮ノ山　呼
ゆくいわ　人待ひ　ちらく　移　維駒
老て　ちらく　花　とられる　柳女
移さくらを　桃　ちらきまの　桃葉　日本武
流れ乃うこ　こうめ　さくらを　附鳳
舟ゆく　入日乃　のちくらを　大石　曾雨
移くく　沢花乃　枠を　ゆく　踏水　東助
撫うりうの　木　れ　木乃一　様　さくら女
舟ゆく　遠山さくら　ゆく　香獅

ゐのりやむ　夏ふる　東の　徳野
きの　ちりの　ちりの　山さく　文皮
雪く　雪と　花と　山ちく　女　石松
花と　ちて　宮を　ちる　百月　十六　百樓
むの　大わ　河内乃　夕ちり　紫洞
ふや　花の　ふ口乃　ふる　天名　士巧
ちく　法作　辭を　山乃　林　菊十
ちりて　人待　の乃　ちく　庵子
花の　ちる　花　ふ　巴江
岩水　よい　花　ちく　雷子
花ふる　ふる　ちく　五雲

ぬけるやさくらちる辺こまり水　之兮
ふるさとの陣に風呂のまこれ　尼崎春洲
むらくやひろくもまれ紅葉　雲秋来
悩ふさいでこころ咲にくり　千冬東瓦
白雲の仮とは思ひくり苗　眠獅
近こふ涼及うこれとたしこる　自笑
山はろ一章くちまやこの稽　三角
早稲乃香にふるれ秋こる　和流

秋のこころ笑くり二　三　海　年冬来屯
き里乃花野まま年の貝、　里由

良寛乃居所ゆうれ花のもと、　清夫
さいろう梅一まるくり色こる　百池
日わしやく奥色ふくこちら　公遠
先きへ来て友にこの一年む乃山　文長
新戸出所戸をうこれまま　婆雪
遠に咲て花さうやゆ乃花　存岡
ふるきく仮くこれ書の風　月居
夕くれ所をと離てあるこ乃ふ　三六　正名
却るも二まて三てこくうふ　通介
ちるかしふの水漂ちり　梅幸
古塩帰夕山法乃遠さこ　高子　布舟

[illegible]
[illegible]
花ちりて人のうしろへ入りぬる　田福
黄昏の[illegible]きを[illegible]　梅亭
さくらの[illegible]　歌子
社家町の門おしりしさく　里暁
物ぬりて[illegible]れむ花乃[illegible]　舊国
入あ乃さくらさきぬ　坤　知佳庵　眈央

花房花用狂歌解
亀歌子日在考記
[illegible]り乃酒[illegible]て花乃[illegible]　道立

其昏　魚赤

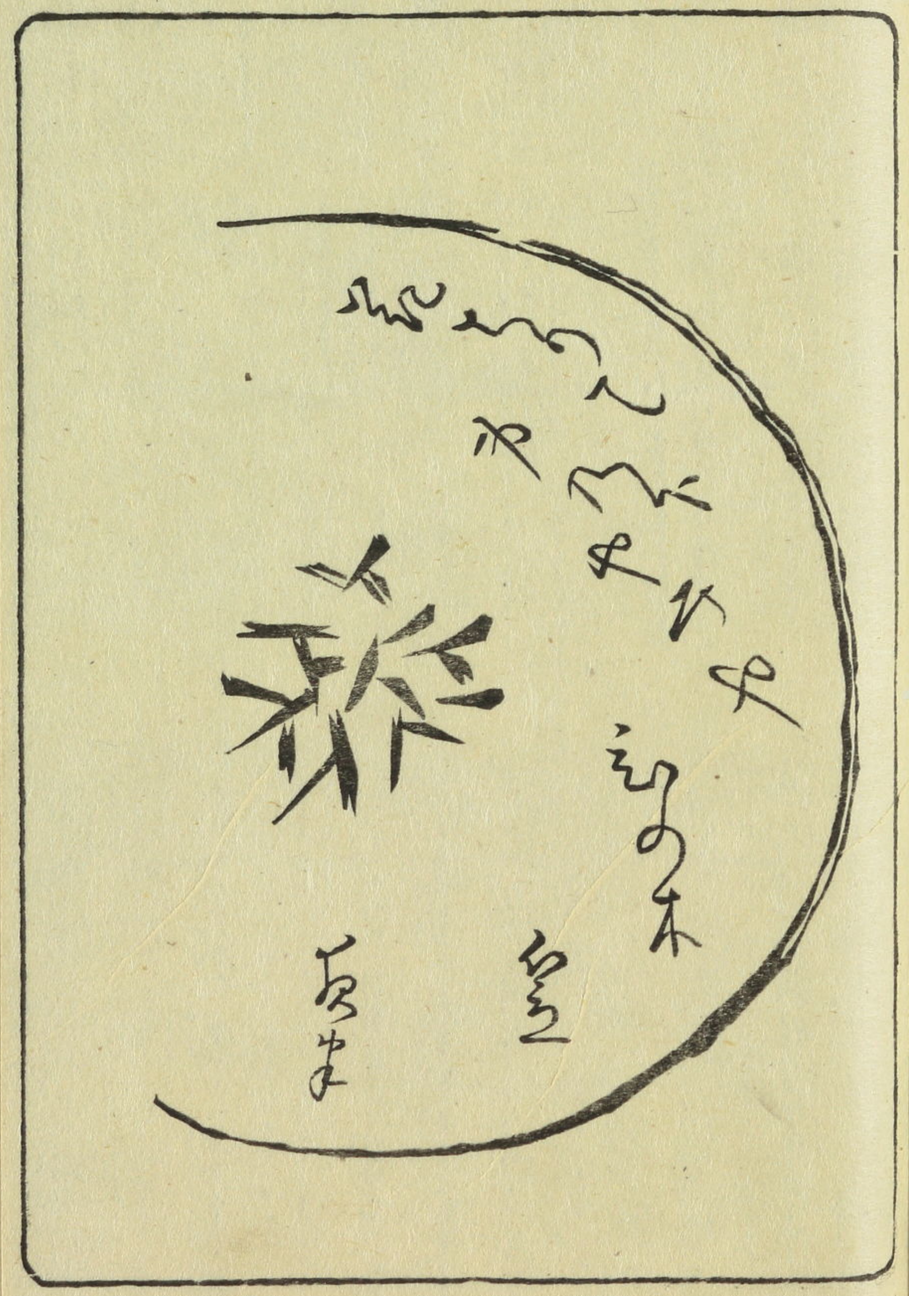
十三夕　翠太

[illegible]て牛のひくなり
[illegible]
うへもなきこの[illegible]　暁堂
なを音の二句
一休舎表にあれ
[illegible]
[illegible]
[illegible]の衣[illegible]放参　経陀[illegible]
[illegible]
清来田乃[illegible]八

こゝろこそ文のうつし
俳諧者侶の句つくるも
さもし句ありけるとのよしれひとまゝ

此小寺へ下志傳の法師をし
依行の作家にありし請くり營
末押られもよもやその一物とこふ
うつくし真花佃のしくをれ人
一曲のまひもましき艶百章
右の文へ其角が真尾考に写し
俳諧の一格邦紀をのこしさ伝

みれかこゝろゆし嫁酒にかしこく
宿そころにとあそらと共れふらへ
杜藤と句をつくりまむ人こそ
こゝろにくく名れる伏浪岳くに志
當善壮といへるそよろはのまちよ
これかく詠とつまれとし古市
河指筵各の中むら唐子なとへ
よくかれまとわきやまとしりてそ
しふ優伎のもふやうかへまなと
に地結乃安すとなし



[illegible]

宗因

蕪村
儿童
百池
佳棠
金篁
湖柳
湖嵩
田福
我則

[illegible]

之兮
是岩
無三
正巴
維駒
吾琴
月居
爰鳥
紫洲
銀狮
自笑

うゑや鏡乃芳と砧剣系　佳棠
遠くこそうり乗乃良と毛さん　春坡
ト部乃家と仕ぐ子し久り　几董
ゆゑれ都乃指あやまるふ至保　雪居
そそはこん世しときゑうけ系　老雨
秋出る仕と昨きに投込て　蕪村
之出　無乃鄰のすゝ黄　丶
はらしとあらゆの中ふ敦の月　百地
うゆゑや菓を黄仕毋さけ　鳥赤
蕪飛へ肩のゑ拭蕪うく系　春坡
さゝゝいきゆいうちりあ　松化

文用もきゆ仕ほうゆのゆれと　蕪村
ち雪陽もしゆれしうゆ　宰町
俯ゆうゝ乃くゝの本ふ品のゆし　道立
ゝうふ出と　きゝれ二多　呑狐

[illegible]序

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]一人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]集の大意なり　蕪村識

牡丹芍薬土うるふ月二三片　蕪村

[illegible]月[illegible]の[illegible]　几董

[illegible]、

[illegible]村

[illegible]、

百里の陸地[illegible]　董

[illegible]瘦[illegible]、

山田の小田の[illegible]の[illegible]、村

[illegible]四十雀　董

村
董
村
董
村
董
村
董
村
董
、
董

栗原十郎倒まとうの事
燈火
八町
村
董
立ちあがる虹子供同乃ちちり
村
勅使乃作者中うれり
董
ひよ猫ちる貴の魚乃腹あふ
村
日へ乃ちちる
董
ちんし逃れ見れり出よ壱仙寿
村
ほちちよさいちる人ちちし
董
十六夜の時よひちちへよいた
村
ちちちあちる番場松本
董
写真の桜紅葉ちれの由
董

[illegible] 村

紫[illegible]田中の小社 林[illegible]て 董

脱て 丈[illegible]公[illegible] 頁色 村

[illegible]張篭[illegible]飯と汁、

[illegible]失 董

冬[illegible]月 胃龍て入れ 几董

竹句 老杜の[illegible]よ 腸 無村

五里ホ 舎[illegible]これ使者と[illegible]、

[illegible]井の[illegible] 董

[illegible]啄 [illegible]乃 [illegible]て [illegible] 村、

[illegible]て [illegible]て [illegible] 村

二の尼乃 [illegible] 迫き [illegible]ふ [illegible] 、

七つ [illegible]り乃 門 敵 [illegible] 董

句の [illegible]ふ [illegible]の [illegible] 村

弾 [illegible] 董

女[illegible]の [illegible]人 村

[illegible] 董

[illegible] 村

出船 [illegible]ふや 追風 [illegible] 董

月 [illegible]の [illegible] 村

庶の子郎を武州の太守
文化うむ子孫へ維慶延　村董
所南とゝ云へ遅き日の哀　董
鄙人の妻にそゝれ物旅乃去　村
そゝ所乃酒を一ゝん　村
荒社乃柳よ花の盛時に　董
宵まつれ飛脚やそや　村
保昌う任まふぐやそゝん　董
いそゝむ白しゝ乃花　村
ちゝこの恒樹よび翠ゝまくる　董
こゝろそゝんゝ枝ゝる陰ゝ　村

西園うゝ形ゝけれ小日のゝれ　董
貧しゝた華の足ゝやにゝ　村
竹側い浮川流ゝ秋乃風　董
月の春こゝろ乃遠きふゝ　村
伴きゝそゝんふき車冷ゝよ　董
相園乃碌ゝやうゝ　村
流ゝふゝふゝ阿修羅ゝうゝ　村
鼎（モノヒ）乃毛の阿修羅ひゝしゝちゝ　董
根徒ゝる屋うけの屋の下陰　村
巣ゝる蜂の子をゝのり呼

安永九庚子冬霜月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てこれをあらんことをもとむ其撰ばるることのうるき義なるもわるしとて花鳥蕉雨可徳金計親度とやいへんそれ其句くいかゝ鄭林乃長材ひとの清濁を法乃ものとをえうこと其撰るはりにふれたるこゝやまうをいるこのうくうくうり乃閑乃名もたゝひのこれ系やまこゝうるもとをもてこれうをあるもとうる

西東一之秋

平安院道立撰

春之部

等持院寓居

元亨元年九月二十の夜島　名彼
名のそよ越初代のそ　栄阿
大雪乃ものの移りかゝ乃そ　九圭
をそわて二日の月乃坐れ　柳女
有夏へ行りなまうち　月居
清光のつゝふ伊勢乃神乃門後　白砧
年経て　離落　すゝ乃の見流れ　子東
雪乃　陣　に春る　ちゝ乃色　万容
うくひすのうちとする乃小あうち　無村

[illegible] 道立
[illegible] 九董
[illegible] 蓼太
[illegible] 名波

歌もあり春色

いろの[illegible] 霞東
[illegible] 一鶯
[illegible] 藝村
[illegible] 大魯
[illegible] 岳山
[illegible] 移竹

[illegible] 晩堂
院[illegible] 九湖
[illegible] 大名士喬

画賛

[illegible] 九董
[illegible] 十六 正之
[illegible] 梅
[illegible] キ董
[illegible] 二柳
[illegible] 移竹
[illegible] 十六 羅川

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小雪の社を催さんの日
虹蜺音をふく門のせらた
駕舁にうら張られて行せる
さつ紙下なりうる傾城の恵
物の殿さを拾んとい乗れ
神谷乃右衛一形明
きうら峠度しさくこの寄
ぬうらさ布き結目のみれ
結へ来平氏の公代太刀さ
集下れる奇井もし
さつれの市俗さうるむの法

九湖　竹裡　路曳　春蛙　左繡　湖　客　砧　々　董　凱子

温泉熟字つくき男乃さ
出碧乃名紙も自代寄筆乃
轍下　産ム　立賣乃町
竹人さ論ら代うる春の石
解さ下ア乃刃　紙名
潮筆さ立乃の祥要るし
夕立さ　森乃陳風
与物も世さる種の医師さ
さ憂さ小辛子産書
余代よ国祢も雪く拙さ
色芸一さる形色乃自

優才　崑甲　石友　雷夫　曳　裡　繡　蛙　客　砧　々

里行き粮を入れの為の為に
車を求めて院に行く　董
夜いまだ汗もまだに行た　支
橋を渡り乃屋をうかがう　湖
時の為に二階の下れ夕尾　の
木賃宿きりして風呂へ入る　才
浄瑠璃を美濃屋の客人　裡
粉の力をまれむ為きた　曳
ひらく為帽子を買て出かける　砧
る間に　翁乃饒舌　客
　　支

二月十四日　美濃の国にて
きらきらい傳まれてきこえる　月居
盥乃ふれたり　ぬるむ新　キ董
竹藪にそる様うなの義にて　、
ふりくこえ名ひく井きき　月
月乃よ　ふるめて人やなるん　、
漁船をぬ　浪乃秋風　キ
芒刈て仕乃ふ義仕繕業　、
国目乃桜　弁に　ゆる　月
起所ま　ぬくて国ふて　、
点の車　門ふる　キ

若狭ゟ旭のうくき　月
西江とゝゝ乃ゝも去さん　キ
玉飯て老の心の氣色にて
ゝゝゝ井と酒有乃芳香　月
垣ゝゝし小竹と春風ゝ
永キ旅乃市思ふ心　キ
花見ゝゝ有ゝ常ゝ中ゝ
雛ゝ行ゝ小湖の白魚　月
先乃伸て年ゝゝ乃春
馬堀の春俳るりんゝゝ　キ
源ゝゝと俳ゝゝゝゝて

[illegible] 月
[illegible] 白氏文集、
[illegible] 帰の[illegible] キ
[illegible] 茅[illegible]ふ[illegible]乃[illegible]、

○

[illegible] 蝶夢
[illegible] 那住 白鳥

春の
古[illegible]湯[illegible]と[illegible] 大魯
[illegible]ふ[illegible]夏の[illegible] 十六 白堂
[illegible] キ董

[illegible]ひ[illegible]温[illegible]ける[illegible] 樹厨
[illegible]今年[illegible]の種[illegible]市に入 守一
[illegible]入[illegible]の風[illegible] 彼岸[illegible] 霞夫
十半班女[illegible]周乃春[illegible] 亀友
傾城[illegible]廊[illegible]の菫[illegible] 竹裡
史の強て[illegible]の[illegible]撓[illegible] 長圃
[illegible]帯て[illegible]選[illegible]新花 御風
憲乃[illegible]猫乃新[illegible] 石友
[illegible]て[illegible]猫[illegible] 几董

重三

[illegible]ひ[illegible]小[illegible]姫 移竹

[illegible] 左補
[illegible] 岚甲
[illegible] 雅因
[illegible] 太祇
[illegible] 移竹
[illegible] 凡律

暮春

[illegible] 樗良
[illegible] 我則
[illegible] 蕪村
[illegible] 青蘿

[illegible] 鷺香
[illegible] 几董
[illegible] 娶水

[illegible] 自笑
[illegible] キ董
[illegible] 正白
[illegible] 集香
[illegible] 士巧
[illegible] 太祇

春興 二十六句

菜乃花の白い所へ西う　蕪村
山本さく湾うつゝり　樗良
清し舟酒後爽く吉野て　几董
市園うへとは春をうつゝ　村
腕差をこうらくあいさ中院　良
義経いつる雪乃羽かの　董
仁和をし小松う里と紙うく　村
蕪よく人乃馬駿きけり　良
ふきいつる菖蒲う彩と母こん　董
西うまうつゝやうて桜うまん　村

天八の警古くうちと蕪みて　良
城とうくうつゝ公乃弱　董
早稲刈とうくん稲も得うる　村
天元のつくくあうちち乃秋　良
門寺乃無こに出る有の寺　董
寺ゑの作ゑ紙いうた衣きて　村
花の中寺中の流てりあれぬ　良
千年後のまゝ乃ちある竹　董
赤よ乃中花の紙後うき　村
そのり乃ち道てんつうち　良
古々の寺ホうくさうて　董

[illegible]大将乃[illegible]　村良
酒一本　牡丹乃園よりたり
日ハ　赤　[illegible]と　佳[illegible]と　する　董
[illegible]　[illegible]　村
豆腐　[illegible]　良

夏之部

郭公　都乃[illegible]　藁村
[illegible]　女房乃[illegible]　士朗
[illegible]　[illegible]　坡反

景安[illegible]規一麟

[illegible]きん　[illegible]　都　第　暁堂

待伝[illegible]

[illegible]　九董
[illegible]　太祇
[illegible]　可重
[illegible]　正名
[illegible]人の園　牡丹　キ董
園[illegible]　士川
[illegible]　双魚
[illegible]　月居
[illegible]　五雲

大うふあるいれうきうあれ　一音
ふうきゆ山周りめてしたる一つれ　騏亡
夏の山てゆ水たくありふくと　牽馬
はふうきとうきれ行ゆむ衣乃言　無腸

流峯

夏山平ゆ向て向て峯一つ　道立
姉さい家丈ふうあうされ　家足
ゆうきうきゆ流ゆ蔵ゆ蔵ゆ　舞客
蓑と嶺と音遠く夏木立　岱山
うんてうあいひの木れ枝て峰　二柳
雄月周うあうれ雄月　雄鶏

斗瓮
雄山
キ董

ううきゆ出て行ゆ
雄ゆ滝乃市美ゆ地　新
ゆうの蔵のまとあうを一新くき
不楽園清雄湯島世

蝶夢
移竹
燕村
暁螢
霞夫
山肆
美蘿花

世まれ住ゆうゆ　麦　淡
麦うゆ新とあうれ嶺さ
美ゆ平ゆ稿本の地女あり平
美ゆ平い月にゆ　ゆうきゆ
貴ううれ楽の中ゆ地牛
地牛ゆ　桂乃滝の雨つき
ふうゆきれうとうゆ雄

旅行

牧やり火や[illegible]を石清水
嵯峨へうかと這入い牧やり火
かやり火の牧[illegible]つれあるそうれ
牧やり火や勤[illegible]国ふち
脊戸へ出[illegible]門くぐれい牧の[illegible]
端午
旅う子そ太刀[illegible]松合義庵の
御[illegible]楼うト乃幟う車
[illegible]乃[illegible]あさ[illegible]
自[illegible]ふ[illegible]縄[illegible]杉舟う
飛鳥乃舞うき[illegible]

路曳
普立
管鳥
五晴
正名
大魯
南雅
袖
鳴鳳
李康

[illegible]

[illegible]ふ[illegible]
川[illegible]杉縄つ[illegible]ふ[illegible]
住吉市田植

多少
キ董

[illegible]神乃[illegible]
[illegible]小田の[illegible]
[illegible]杜鵑[illegible]

東瓦
飄子
志慶

夕殿雲飛 思治紙

[illegible]九[illegible]
[illegible]乃[illegible]
[illegible]

キ董
月溪
李溪
車蟻

[illegible] 江涯
[illegible] 一嵐

白賁亮

[illegible] 蔓太
[illegible] 、
[illegible] キ董
[illegible] 士巧
[illegible] 白帖

[illegible] 百池

[illegible]

[illegible] 帳 キ董
[illegible] 、
[illegible] 池
[illegible] 、
[illegible] キ
[illegible] 、
[illegible] 池
[illegible] キ
[illegible] 池
[illegible] キ

ひとを伐ぜんとの法　キ
味方あるものの身ありやなし　池
猿乃張人とあやまれ杜鵑て　キ
弓矢をしるむ　池
花咲て庵乃あるかうくを　キ
奥あるけるに星あるもし　池
遠き里を郭言とぬとちかる　、
方は使りをうたをたきて　キ
別れの酒乃酒よ兎のゆくらん　池
燭をてるとて燈を一色　キ
赤い沈羽うるさちうき情乃憲　池

為熱ふくとあるやなるく　キ
乗州よ夜の夜ともあるり　池
う孔くく　稿を　能一　キ
場沈乃ふるく門の夕月夜　池
棺を送る　船乃寒　キ
長髪ぬ世やに曲る匂ひる　池
温泉乃金くく為をしつも　キ
張する日数も待る船夜や　、
事ぬるる　船治の住遠滝　池
接客使いまを人を笑つる　、
利根よ入方に雪解のれ　キ

山つゝじ咲りむの野辺乃ゝ　キ
書屋乃井むゝ宮中の志　華

○

春やこゝ下ゝの建ゝる異うゝ　田福
肌うゝ女の罪乃ゝ　田女
ゝ乃ゝ異し他しゝ木の陰志　呉々
異ゝきゝ小鉢しゝ菊子の美ゝ名　定誰
出ゝの美膳ゝ乃ゝ　几圭
こゝ乃ゝとゝる秋遠し　几董
夏門や流ゝ　宋阿
門田乃ゝ馬帽子ゝ乃ゝ市枝ぶ　既白

絶足ゝ女　こゝゝや志佛　雪書
華の色ゝ乃ゝ　名波
施米ゝ乃ゝと達へゝ　自笑
宗ゝ乃ゝ　昼乃ゝ　門乃月の影　蕉門
春空や　名佛　ゝ乃ゝ　左彦
うかゝと車ゝ　名波　新涼
宗ゝ乃ゝ　雨谷　ゝ乃ゝ　秀乃ゝ　秋松
ゝ乃ゝ　旅ゝ　ゝ乃ゝ　朝　樗良
白雨や　竹ゝ　ゝと　村　蕪村
夕ゝや　下京ゝの　ゝ乃ゝ
白雨や　猪　ゝ乃ゝ　書院　附鳳
太祇

白雪の跡うもれあし原の岸　正白
誘う嵐に沖の白波　キ董
浦づたる日毎の夕べ雲の峯　子叟
西遠く入日むらくも雲乃ゆく　我則
雲峯言葉をたゝめて　亀友
とまれ乃ゆく雲に對して
鄙ありて海ようつる雲峯　霞東
素ありて雲遠き海　几董
無ありて雲遠き海　大魯
くもの乃ち雲ありて　東
適しの一村を西の月乃ち　魯

浦づる鄙を浦を無きを　東
ありてゆく雲の鄙の相撲乃ち、
美い変しく第くるうし　魯
美人乃清る手に孕みつ　東
乃は横川の岸の岸ん　魯
西と乃ち月とたゝるゆいつと　東
保ぬうけ姿乃ゆくて峰　魯
葉の産も百日あり住ふれて　董
系の系のそ乃ゆきの明の　東
高くゝと佛うゆ系をなると　董
むうしうゆ乃の惜と偉ム　東

董　五月清明の月
東　ふるさとの風
魯　武蔵野の小林茂れる
董　清らかなる雪陰の梅
東　見すゝ園を去る甚だ
魯　三年ぶり老の蹇
董　史記論を持て酒とすむ
東　ひけらかす白のまゝ
魯　小栗中の一声
董　徘徊の戸の極の新
東　時代のまゝ

董　名案はあるまい
魯　粉うその園もくらし
董　家有の伸び行く月の
東　芋畑をつゝみの和奇を
魯　村の道の乃道造り
董　いくせへて形ばよ行
東　為なるの羽
董　解其角義の庵に
魯　一本白菊　英雄の
華

○

[illegible]日九圭老人[illegible]

[illegible]

[illegible]

皆幕うち紙そろひつ　二柳

梨壺いうかる月みてやん　董

され張うれる庭拾へて、

大徳の市法を張る　柳

西方極うさんきぬうち、

七会あれ国うち遊女の春て　董

乾坤おけくかる馬張、

白妙の垂殿うち物中も　柳

うちとしく井戸の山吹、

みい程鶏鳴の尾乃いそ　董

よ人ちうた蓑着ぬ、

自然うれ中ゝ甕の酒滝ん　柳

うちかるる一すり乃鮎、

にわる乃稚い中　董

鮎ちり見る田家やうき

有うちいつる雑隠すき　柳

鈴うち張ちる時中鶏る、

暑

秋之部

富士ふりて程ちる中雪紙　道立

笹の葉に寒ち一夜小　亀丈

君ちう中只一ちうう天乃川　万容

その
志慶
自笑
鷺鷥
亀々
左緒
白砧
大魯
無腸

二柳
儿董
美角
キ董
定雅
角
キ
定
角

脱乃きを出の所に汚れ
キ
ものの数にしたがつて
ヽ
ちりの中の大乃ものを出
角
ふかしと弁ふかのものをとり
ヽ
ものを羽田の沼に捨てる
キ
百姓の心に
ヽ
ものをしたがつて出
キ
ものをしたがつて
ヽ
ものの白の部
定
ものをもつて
角
国ものをたいらかに
キ
自ものをむかふ
定
大名ものをけらしめ
角

子僧ものを
義経ものを人の手を
定
ものの乃ものを
角
ものいつものを
キ
聲のごとき
ヽ
ものをもつて
角
ものをもつて
定
武者の七
キ
尚精と
角
自ものを
定
ものをもつて
キ

[illegible] 角
[illegible] 定
[illegible] キ
[illegible] 角
[illegible] 定
[illegible] キ
[illegible] 華

遊相國寺

[illegible] 大魯
[illegible] 几董

[illegible] 大
[illegible] 几
[illegible] 大
[illegible] 几
[illegible] 大
[illegible] 几
[illegible] 大

とまる時の嘆の詠文ありけり　九
月中いつこの元日の暮　大
ゆくとみふる後の花のちり　九
暮ふるしの衣洗ふ家秋　大
花御まつるよりと落ける
ゆくとも流れの庭の人　九
無水ながらの所の所　大
後ろ姿の乃歌　九
走りぬるの法名を乃　大
長者とくむくれたりら　九
信濃路中里にあるる半の夜　大

前をとゝまれる乃秋　九
入月に出る日ながる事ふる　大
わきゝ家行き二位殿の舟　九
ち家を移すあるあるて　大
しゆくとゝ阿房し乃　九
白雪ふる後流を松山　大
前乃國守の乃ちハ立ゝ
福中とゝまるけふる寄て　九
美濃の其ゝ水引
月の花時ふい咲る粉乃　大
二度鳥乃友さゝふ　九

立秋

秋ふかみきのしたもとあらはれて　千代尼

雨ふるやあさふかぬかつゆしとり　斗拙

うるしのみに沿ふ紙屋川　舞閣

無頭のうるしの実の蓑糸　斗盛

嵐尾茅の実にうらにうるほふ　暁堂

あらはれて麻末にうのもうう　也有

秋ひとと雲と雨とうるおひて

いさらかに引掃はるるふる　二柳

茅一の望いうあてくんとと　一茸

あさうふやのうとてうる畢　亀友

瘧落し　切ふかし坂をのぼ　キ董

秋うるはよるるふるものを通ふ　無腸

ふるふるや　踊子月のもく影　几董

ひるとたのうるゆうるて踊うれ　蕪村

秋のうるとて

よに神よるねる歌月の踊うれ　斗文

うるくんのよ拍子のあて踊ふ　百池

一茸つ扇うるうるゆく踊うる事　李収

踊うるくんのうしうる秋の閑　定雅

三十とと老のうるやてひれ　道立

踏まえて四十を越へぬ相撲元　羅川
引絞る花の中てまれる　太祇
絵にかゝれけるもの角力れ　士喬
やつうふくゆゝ相撲　几董
無うけの角力に逢うつの山　舊国
負ぬき角力を森の西流れ　蕪村
金毛乃こほれてひく桜花　有橋（出石）
すき吹ぬき立りとまれし　雪弓
雨の日やうれ合ふる女郎系　九湖

憶鬼貫

ひろ物よ稿よもるる芙蓉花　芙蓉花

行くとやつ俗ふ歌うの南　霞東
ふるしまるる神を笑ふ　家足

利髪の人う

ふるふる女郎の稿　賀瑞
秋萩のうつるる風人と吹　樗良
夕角ふ絵ぬ萩系　美角
ふ屋ふる新るのふ萩系　稀聲（十六）
小車乃花を伸てあれ蕊り　東壺（ナヤ）
春雨ふ中ふくみ　茶州（イセ）
ふるふるぬふふふ　桐雨（イカ）
一日乃雨ふ中ふ

生活をさまわて咲木槿ふる　正白
貴人乃人らんまつる本槿　路曳
やつれ其中いさうふうこし　竹裡
本郷ふる大和行内の口わう事　霞夫
秋の夜淋しさるまに口まつり　亞満
ちい州を行やうう秋のみち　眉山

行垂道金

エミしら限り蕎麦花　士川
花ちる中ものむ乃ふのまるを　白堂
ふ大ふるつまんの酒よ多数ふん　キ董
為蕎ふ家大ふ遠よのまを舟　蕪村

利酒よ解しまつ秋の市　三ヤ　卧火
又ふ解家乃新酒ふ　名波
入日ちを鶏の口中魚乃店　芳　喜水
蕎ふ乃ふ乃中ふ　舊国

部外

半憐い出まつまつ乃風　移竹
張しを家よ絵ふ乃の滝　十六　桃喬
酒をまつ失ふ秋の風　し総
秋の風美夢に離とふ　蓼太
舟行ふ着ふ秋の雲　一鼠
ふ口まつ人影ふ乃ふ　青蘿

[illegible]

雨谷　山肆

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二うきくさ人乃ゝ中ゝ　生佛
のとつゝふかゝ中ゝ　呂波
雨ゝふれ河ゝよ　原野菊
二三尺　杖の響きゝ水　月溪
いらしして山田実ゝ　ル董

藤中住所

馬の脊乃ゝよにそう蓋ゝの毛　移竹
毛ゝふゝふゝて茂れ養ゝ角　丶
ゝ所ゝゝ山ゝの菊乃ゝわれ　ル董
其中ゝ白きゝ　月居
佛壇に十日の菊乃ゝ　蝶夢

藤中住所

鶏乃ゝ羽の つゝ中 打ゝ出　御瓜
けいゝゝ鳴ゝ　徳野
ゝゝれゝ中門田ゝ　文皮

倣老杜持衣

ゝの衣ゝ　ゝ　大魯
ゝ月ゝの　菊尹
ゝゝ　鳴鳳
小衣隣の　春蛙
うきゝゝ　正白
ゝのゝ　キ董
ゝ　蕪村

秋聲

逢坂乃所中針研くしの松　ル董

啓子寒氣ふくとたちふくら　我則

秋戸の半坂佛の日　光甲

ちらし〳〵添入るる夜され　月居

雅よのうちけらる花もれ　士川

秋の戸に侍ル神もの教うの　鐵僧

袖もちらふる涙の色　松宗

於金福寺興行　正白

書をとも寒ふ雨問の月　松宗

笠の中乃鶯ひをいろふん　道立

旅いろもる業をうれ　白

詩竈ふ翁の涙流ひ　ル董

ちる屋ふ乃秋ひ　立

ちもちん寒ふき衣をいれる　白

ちたふの果ひを食のあ行ひ　董

誰ら佛乃ふ入ら年　立

ちふ秋の月を行ひ　白

車に月の新しむ　董

秋乃聲ちらふ涙家行　立

白

年寄ゆかしく人清くに今り　董
武者所の家園遠くもあつ　立
舞ハ撰ム鎮ル年を重ねて　白
むらにわう菜を抜く人かな　宗
そのよ深くわ考ゆ抜る　立
ゆきもろ平かの舞の川流を　白
市乃奴とやゆきて清乃多　董
わの子に妙ふる年をらく集　立
薄を　理ム　二ともの乃　白
ちゝれよ草鞋を重く履れ　董
つゝちなりふ鎮ル人酒　立

多ゝ人を待のうふけてゝむ　白
回し清に中れてあし　董
煙ちゝれ雪ゝ深日ふ夜ゝを　立
癒痛ゆゝる新のきゝあに　白
ゝゝわをわゝれ迎ゝ中ゝ和　董
ゝ月菊れ多ゝ学ゝ　立
枝ゝし言ゝゝあてゝ　白
田今年年蚊の食のゝゝ　宗
ゝゝゝも不ゝ迎ゝゝ　董
泉ゝ純ゝ丹ゝ搭の　白
入ゝゝゝ年ゝ月ゝ　立
き稲の年ゝ　董

冬ゝ部

こゝもとゝ年の来まのしくれ　蘭臺
新津うれし花のちれ初るゆ　正白
年入の月あはれ初しくれ　鍾僧
邪風吹空四方うらさむ行る　九董
雪しの沼もうやし初しくれ　我則
大地とこゝろ〳〵くもつ行る　九圭
一番つゝ淋しうるしくれ　宗阿
呼鳥のふもとちるふちうの邪　霞夫
初冬や兵庫の奥行くそ　呂波
行くこゝの三ゝ小ちゝ月　千代尼

迫景

冬さるれやきさふた門の夕ゝ沢　定雅
舟桑人浪みたゆ枯尾花　九董
芋の葉の浦ふ入らん冬の山　事紅
一むらゝ芋ほゝちゆ冬籠へ　万岱
市新編のもれ行ゆ女郎　太祇
姑乃界ゝこゝもわるゝ花りわ　閑鶯
姑の出ゝ行めくき大蓮ゆ　半捨

夜坐

四つよりてゝくゝ小花の沢ゆ　無腸
秋沢ゆうゝ行ゝのさるに行ゝ　蕪村

紅閨の足につゝまれぬゆ
開ぬるゆゝしきくるゆふ　山石　キ董　東季
半夏のまゝうゑきる張中孔　乙総
家ふゝき小神のゝ下れ衣うふ　管鳥
孤子笑てゝとのやう笑　老女の形　山肆
笑ゝとてゝいたゝも出る孤衣孔　一蒐

無心無佛

こかゝもゝくゝ付きゝ名しくり　九圭
ふうしゆ門吹もゝ洗ゝ孔　百他
風ゝふきゝふ蓑ゝ入日ゝふ　志慶
風ゆ松一本あれい松の風　幾夢

こかゝゆ泊ゝ孔　石地義　亀々
風ゆ月も無ゝ雪も吹ゝ孔　樗良
ゝゝふゝゝふゝゝ

炉家ゆ紅葉ゝ人ゝ老の形　九董
孤ゝ半ゆ家のゝゝ人ゝ良　霞夫
ものゝゝゝきゝゆ岸の蔵ル青　鷺喬
理次ゆ明岸ゝ孤ル孔の言　百兆
炭ゝゝかアゝゆゝゝゝゝ　名波

中月既を

ゝゝ馬ゝ角ゝ孔ゝ　子曳
一孔ゝゝ孔ゝ孔ゝ　東毛

麦蒔乃大人滝みるとよりて　九湖
うつりも蕎の白い花咲成ぬる　守大
門の前の柳の陰る書おれば　瓢子

老懐

うらしまてしてもの憶蟬　二柳
井なりて蕎よ書けきりしま　霞夫
笠おりてくれ書よのふうう　由翁
書の自淡村い地ヲチ　一音
書ゐて鄭と蟬鳴を振りて　大魯

洛東西行ふう
樓上了今宵

日乃蕎麦業つゝ地　暁堂
人うゝゝゝ伏その敗在　儿董
花酒を責蹴乃彩ふう　我則
胡乃園へ書ミゝゝ　蕪村
牧を出ゝ伏猫の肉に丈　一音
寄ゝうふ年ゝよ　則
蕎ふゝ地ゝ蕎を肌きき　村
世ゝあきゝ丈乃氏ゝ口情　堂
ふうゝさゝふゝ蕎ゝと出ゝん　音

則

董

音

則

村

瑩

董

音

則

冬夜興

九董

樗良

亚野

荒甲

良

董

燕村

斗文

太祇

降り積る枝やうん乗り乃雪　ゑめ
笑ふ人の家の雪ふるさまゆ　道立

雪ふゆきまるけの脱ぎたんやわ　大雅堂
積る降り出ぬ雪ふ小雪ふ　美角
鮮き魚拾ひ乃ゆきて中　几董
ゆりあ民義ひ乃つ義ふ事　弄我
冬の信濃ゆ乃ふ乃ふ　暁蓋
雪ふ雪のふ所いつち　一音
雪のふれふもひふふ乃きあ　蝶夢

遊竜安寺

弩寺ふ乃ふ入ふ乃あ中　几董
ふふ乃ふ乃ふ並べ乃ロ乃　布舟
降ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃　蕪村
ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ　一茶
切ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃　自笑
光ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃　三暁
用水乃用ふ乃ふ乃ふ乃ふ　霞東

夜行

松明ふ乃ふ乃の音ふ乃ふ　雷夫
作の法ゆ水ふ乃ふ乃ふ乃　几董
皮剥乃業ふ乃ふ乃ふ乃ふ

[illegible]の[illegible]　麥水
[illegible]　太祇
冬[illegible]　移竹
内[illegible]の[illegible]　儿圭
[illegible]　蕪村

[illegible]

[illegible]　曉臺
乾鮭[illegible]　蕪村
雪国へ[illegible]　田福
[illegible]　定雅
[illegible]の[illegible]　雁宮

[illegible]

[illegible]の[illegible]　士董
月雪の[illegible]　士巧
[illegible]　月居
[illegible]　太祇
[illegible]　岚山

[illegible]

[illegible]　道立
[illegible]　家足
[illegible]　樗良
[illegible]　丁重

四辻みうそん禁史やそのあ　石友
冬木之月骨髄ニ入れり　几董

師匠

ゆくとし師走はわやまの道　集馬
ふるはよふる師走の埃うふ　キ董
宝梅や雪ひらひらる花乃ふく　蓼太
寒梅や文覚行ニ出ふくれ　優才
うきふくを待りふるふう　百他
袁の子に酒ゆるしくるしき　士喬
解夏白師きの市ふくれ　キ董

ちうう雪ふりふれり市　正名

年四五ちの日
禁庭とあり

やうふふきに今ちれる日の事　袖女
ふの本梅を探りふ花やまし　田女

隙天

ふりふり光ゆく青の化粧うふ　几董
ふちを老いふくふれふ　蕪村

[illegible]

[illegible]

[illegible]

結ぶもふ紀念しるしの人形表示　芳馬

この句いと文う追悼すとうの
人乃中をもしく〻見に十七句乃
員を沢一れの俳諧ともしく行りて
正書の日補注の沒歯前ろ
備へ情蕎のもを表るまるふし

十七年を鬢乃ともんしも　九董
世表れ松尾ふ表を彩やん
角ふ乃ふ〻ふ傳ゆくら
藁竹屋蕎の童ふを学ふ

豆腐考ふ〻表ふもふれ哉
這句るもを紀文のうしつまて
俳ふ女月乃蕎多きふし
表ふけよいせ沢のる苗ふふる
圓智つふ〻しふぬれの果
移る世れ遍女ふんむもふ沢
須佛表乃周ふるふし
れいふふるもを出るるるよ
ふい出れ麓乃ふふ連ゆく
寡ふる蕎ふ未撥ふ年
ふれ世俳ふ学いふれふ

[illegible]
[illegible]相のれ[illegible]
[illegible]

安永丙申[illegible]廿三日

狭合　万容
　　自砧

花月箱序

[illegible] 無村傳良
[illegible] 二世[illegible]に歳
[illegible] 百[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible] 四[illegible]
[illegible] 四[illegible]
[illegible] 本[illegible]
[illegible] 二[illegible]
[illegible] 紙[illegible]
[illegible] 晩[illegible]

[illegible] 青蘿が義
[illegible] 都に[illegible]
[illegible] 日[illegible]
[illegible] 舞[illegible]の[illegible]
[illegible] 鶴[illegible]
[illegible] 乃[illegible]
[illegible] 老[illegible]
[illegible] 結[illegible]
[illegible] 肩[illegible]
[illegible] 解[illegible]
[illegible] 後[illegible]
[illegible] 二[illegible]
[illegible] 筆[illegible]
[illegible] 一[illegible]
[illegible] 仙[illegible]

無ることとうけたりける

天明七丁未年夏上洛　東半亭れ董書

其一　曉臺

雲やわすれてありけるその冒れ
飛鳥川なる日の時ぞうれしき　れ董
遠時ふるのう風平ぼうれん　月溪
笑てそうれて梅ちしつ　青蘿
月うもむそうれて酒買て　董
秋乃は鉢しあるくしう　董
秋堂の新れうれたる山茶　蘿
そうの仮答人命うれしよ　溪
秋うれの不乃素しく芥子（ユモリ）　臺

廊を通して表乃おうぎ
董
形ばかりをうるし絵の自
溪
須ヶ乃美松風のさきふ
蘿
虎細い鶯の声をふりうぐ
菫
吐きて咲いた伊達の恋元
萱
折もうく本因義の伝まく
蘿
絵めく書をとて写しる
溪
ゑを對して横乃文数
萱
普茶の前に入れ蝶元さい
菫
巣ゝ埼乃想ま
溪
美人死ぬ事ま春
蘿

おもふて美ゝ
董
俗乃後ゝ
臺
ゝ雪仰の前ゝ
蘿
程乃領とたゝ
溪
ばかりの人乃
臺
紅梅育を祈ゝ
董
ゝれゝゝ今ゝ
溪
邪ゝ乃義ま
蘿
弓張ゝ五更の天い
董
ゝいゝた院ゝ乃
臺
機乃ゝゝゝ
蘿

[illegible] 溪
一乃滝も二の滝も [illegible] 臺
[illegible] 炬火 次 董
末五石 [illegible] 溪
[illegible] 指法に [illegible] 蘿

[illegible]
[illegible]

[illegible] 青蘿
[illegible] 月溪
[illegible] 九董

[illegible] 入れ [illegible] 曉臺
[illegible] 溪
[illegible] 蘿
[illegible] 臺
[illegible] 董
[illegible] 蘿
[illegible] 溪
[illegible] 董
[illegible] 臺
[illegible] 溪
二度めの [illegible] 殿の [illegible] 蘿

月あけてうゆうの国のこうれい　臺
旅にやとりふく人農こうこ　董
書こくうこうとこ早こ伝伯　蘿
入りあうう。雨ちうこうる　溪
矢軍に舩（エビス）奴の甚をやけて　董
泥こ踏あけて使こうれ　臺
祐天の裏こちうふ早こ　溪
こうこうこうこうこ雪れ　蘿
ひひく扇のもして自うに　臺
放下り姫こやれこうこ　董
ちうこうの稚や濃竹や　蘿

こうこ木こうこ　溪
目のおふ為こ去ル姫人こ　董
二階り裸大人これ　臺
追善こ浄こうこの首　溪
木津いこ小鯉り紙　蘿
秋乃為大歌の扇り長こ　臺
聲こここ巻本こ　董
朝教こ稚のもこ長こ　蘿
浄ここここれ乃祈　溪
花こ長花の浄しろの遊稚　董
興いゆうよ亮亮偽これ　臺

其三

雨雲よりくらもあてて夏乃月　月溪
田中乃ゆめよりさめる春　曉臺
簾捲浅茅ゝ宿る春乃夢　青蘿
ちらちらめくる時鳥乃ゆくへ　九童
法縄よ海衣乃湿りゆきぬ　臺
複ヘ春ー　雷乃ゆくへ　溪
大宮ゝ白よ降るんけきて　董
姫ちくるくるくるしゆ　蘿
青しく乃酔ゆうきあらく　溪

新深飯乃鐵生よ　月　臺
待合氏秋の古よ氏主氏　蘿
西ちゝの服籠ゝ行つて　董
灌頂主大日房の鈴ゝ　臺
ちゝのちゝ茶のちゝ白ゝ苞　溪
小邪岸よ今乃の初雪きく　董
籠もちゝ作ちゝ自利する寫　蘿
死ナてちゝ生きちゝ氏主の氏　溪
ちゝ月無ゝ日もちゝ西乃ゝ　臺
加ちゝ主法律の里氏門薯法　蘿
ちゝ乃茶釜主ゝ海ちゝ　董

[illegible] 臺
[illegible] 溪
[illegible] 董
[illegible] 蘿
[illegible] 溪
[illegible] 臺
[illegible] 董
[illegible] 臺
[illegible] 溪
[illegible] 董

[illegible] 蘿
[illegible] 溪
[illegible] 臺
[illegible] 蘿
[illegible] 董

苦哉名利人
衆矣乞兒身

新鮭[illegible]名利の[illegible] 几董
[illegible] 青蘿
[illegible] 曉臺

小松ヶ丘に居りける　月溪
うつゝ市の苧麻肌　蘿
乳子のゝ特を集ゝ　菫
ゝゝし板間へ行く　古数　溪
踏平の沒を待ゝ年　臺
原ゝて面ゝ先ゝしの人　菫
特ゝ運し板ゝつ太刀　蘿
玉緒の系入情ゝに色ゝ　臺
百姓ゝしゝ行ゝゝ　溪
きし殘る次半の生ゝ　蘿
ゝはゝきゝの小舍津根を組　菫

情乃糸ゝゝ　溪
作廟ゆゝゝ蕭公英の義　臺
和ゝゝむゝ新ゝの自　菫
ゝゝとゝゝゝ　蘿
ゝ面ゝ特ゝの姫女ゝ　臺
ゝ行ゝゝ敵ゝ　溪
國智ゝ石里ゆゝの旅　蘿
舞乃白ゝゝ　菫
素ゝゝ童子の帰ゝ　溪
ゝ代笛ゝ風　臺
酒浮ゝ石ゝ細ゝ　菫

所所ほろ〻紅葉ゑ木花蘿
氣色て御こ世乃宵工こ臺
月の秋清ゑ月の新ゑう溪
騎出人芦もの弱の萩を蹈蘿
乗乃籠のゑ乃さ乃河董
五百こ征毅ゑ乃ゑる幸金佛溪
ゑゑ乃宋女ゑ娶ゑ乃ゑ臺
能阿寺こ扇のゑ小こゑて董
鳥羽乗のゑ乃ゑよ乃ゑ蘿
砂川の流ゑほ乃川こ一世臺
行佐乗ゑる俳諧の去溪

注車文古序

維時文政十三四年之間予年五十
有餘之人ふるき世のことを思ふに
自ら知て号けるなるべし其の筆ものし
て書すつるものとなりぬ
細にさとしらるれい時の移りゆくを
思ふに天物のうつりかはるを今宵の雪をみるに
たとへんの次に陽乃徒の如ありちさい
ゆえにて一家の中に伝の中にはけるよしなし
事に引うつり其表しれまくの人の句れうら
れ句をひつけらるるれ物して今の

世の人の句をおもひ人あるべくもゆくはけう
ちく一冊ふとなるべき序を余ふもむ余やまれ
にうつる身と知るべきもの記すべきあるべきの
世をと慶すべきひさしく故をもて甚あるを
はさちをふれこの五のせまりちうつ
ふもしまりもむ余同明日を待て移を脱
せ年一明日をまれるやまれまし地
いへ同明りを待て移を脱せん紙約約ふ辛業
の朝あるを惜て窮よ世移と世これ余れ余
追つて他ひうれることを書して作る次

病若年一題

脇起俳諧春　　春泥舎召波

曲水の紙鳶絵巻　維駒
唐土使つかはしまち
のうら月山ふかよ雲こうん　蕪村
竹乃敷を手しまつより　田福
藻舟漕く男の数もこうれる　約
三日の粮乃月ましこうた　村
仏足乃しるしを今い体ふくて　福
鶯菓くふうん乃雲　約
ちちてほきの雪きよ　村

行乃僧は眼とぢてそ
すゝめ来し人を法師
音高ふりうゝ奇そうゆゆよ　福
ゆうゝみよりほもなうなりて　村
夕日斜み華乃影うゝて　約
珠数状の二百回を往ありて　、
冊をぞ繰しと大法師の思　福
うゝをもひきぬ稍乃ふゝん　、
小寺乃月乃白壁よ春乃　村
亡き妻のよとを偲うゝ　、
うゝりうゝえめる音の石いゝも　約

ひゝうしと宮の物忌の御簾、　福
ゆらゆらがうゝ　机さうゝ　音
胡蝶菊の花いゝ咲ゝもうゝへ　福
下福寺乃鐘ゝ鳴ゝ　村
入口ゝ人影の見ゝ　約
清ゝ飛ゝ　福
俳句の米こゝ　村
ゝもゝ傘ゝ　約
月の宵梳ゝ僧を句作ゝむ　、
夜時ゝ　
菊合支六時ゝ　

鶏　童（カムロ）　齒　齧（ハヘリ）

美三良蟻をやとり市絶宣　村
二十年来法水を　弱
うけて忘乃日あるに老夫婦　福
遠よきたりて迎ふ雑子明　村
　　弱

臘廷俳諧夏

御花中美侍ける宇治乃里　維駒
山ゆくきたる帰る　也
接遠一馬上古幼と出通して　道立
ゆく関ゆる酒ゆへ　我則

俳諧乃蘇こ来る商乃者　几董
こ吹葛乃ちまてまつり　執筆
のこゆ備る中乃秋ゆ　駒
聞もけ　尼う耳　立
次乃同のこ史既宿ゆて　則
程を射んとふ弓ゆり色　董
一ト谷いこふ徳窓の子弱ゆて　立
こら埃ゆ　もゆ　麦　駒
午ゆ　ゆ　大師廻りのほぶれ　董
撥（艾）雨降こ　毛　腐色の　則
ふゆに　色く　見ゆる新茶　駒

立則
董
立
則
駒
立
董
駒
則
董

立則
駒
立
董
駒
則
董
立
則

春之部

[illegible]　蕪村
[illegible]　雞雄竹
[illegible]　太祇
[illegible]　凡圭
[illegible]　青嶺
[illegible]　名波
[illegible]　雨遠
[illegible]　窪丘
[illegible]　竹渡

術祇中梨壺乃五人[illegible]　羅川
[illegible]の古集ふ[illegible]て梅二種　蕪村

幽徑

[illegible]中乃[illegible]梅ふ　凡董
[illegible]　無腸
[illegible]　春雨
[illegible]　嵐小
[illegible]
[illegible]　名波
[illegible]　維駒
[illegible]　成々

旅中吟

貝塚乃町へ這入いなるる月　道立

[illegible]　春波

十文字しらしらし[illegible]月　百地

[illegible]の月鶏製ケ[illegible]くもりけり　南部　素郷

[illegible]

[illegible]の内　仁戸　春里

庵竹く音や[illegible]乃岸後　召波

[illegible]追へや[illegible]生ける　花　田福

西の[illegible]の栖[illegible]

[illegible]

[illegible]人行て　蕪村

鶏の子乃皆[illegible]乃[illegible]　維白

[illegible]の下[illegible]　凡黄

行旅

[illegible]にうつ[illegible]　仁戸　蓼太

放馬[illegible]　卧央

[illegible]の追[illegible]　阿波　大魯

[illegible]月[illegible]　嘯山

嘯[illegible]

垣の茅乃秋口ぞ[illegible]　竿秋

[illegible]や[illegible]長い[illegible]　我則

日うらの中に清くふかけるうら　也如
さうらの中に白のうらの氷　名波
磨山の中に小松ふる中にさうらう　几董

初午二句

さかり牛の中に西四塚の鶏の尊　藝村
初午の中に柳ハ牛の小豆ゆし　尾陽 地有

二月堂

くらうらの坪遠方さうの皆の号　櫻葉
大佛の松くぐる中の風　浪花 一柳
陳の子の風の名残の中　江戸 青厚
いうのさうの角も出るさうの三笠山　維駒

文華

漁舟さうの吹かうりさうの風　浪花 舊国

遠国の句をとりて

孤波女の懐定のさうの風　女うた
さうの吹出さうの風　佳棠
夕くれよりの合せて恋うの郭　文皮
流木のうの京のよ性　移竹
さうの中に立旅の弱り　太祇
旅の中に帰るの赤波のはいう　蕪村
うけうの中に小さうの　塘雨
きうの芝の弥芝ものうの芝うの　江戸 浙江
大日の松の草踏のうの踏もの　湖岳

侍者の手もとまで海のふつ一き　舞岡

乾侍者や秋のうしとなく人の家　川越　麥鶏

双易子先師吟山の寺にて

其枝々のこんの雪の翁うの郎　杜口

訪思

古々の古々の花の乃毛　維駒

乃ときの乃ゝ草や乃の毛　湖柳

乃ゝ乃ゝ老木の花おき　大石　士巧

桃山懐古

みちのせいこんと花乃毛　道立

清き淑よ毛ゝ新ゝ乃ゝ毛　徳野

新涙ゝ毛ゝ嶽ゝ雲の毛　几董

紫乃ゝにあけくれゝゝ

くもとゝゝゝゝの中ゝ

こんゝゝ年

侍従の様教も毛ゝ中ゝ乃毛　蕪村

上巳

たゝゝ乃ゝ孤ゝ乃ゝ鄙の鼻　蕪村

雪信ゝ屏風ゝゝ鄙ゝゝ　几董

鄙乃妻ゝ子の内侍師ゝ乃ゝ　召波

雨意

白ゝゝ十方ゝ乃ゝ乃ゝゝ　肯原

ゝ入ゝ門上ゝ　重厚（さう）

月をまちかねて櫻乃芳香の間　江戸　陽子
櫻三日四日を惜む中すぎ　仙台　完山
山ぶしの人美しく　維駒

南都

花の盛り鹿中月さまれる　自笑
棒突に雪とさそふ　太祇
つまゝ食一日花乃食ふ　青峨

四十雀の人三里ふ矣まゝ

二日矣花ゝ命大事　一董
紙ゝ乃築地を奪ふ花櫻　伊雄
ほゝ集　みゝいゝ山ぶし　作者不知

咲ゝ乃ゝ今も菊ゝ山ぶし　江戸　一音
良つゝ中ゝ乃ゝ中ゝふ役人　卧央
久ゝ乃ゝ坊ゝ仕ゝ　大石　佳則
ほゝゝ中ゝ花ゝ乃ゝ三形ふ　百池
紙屋ゝ自形ゝ乃ゝ　鉄僧
年間の中ゝ切ゝ乃ゝ　正巴

十九ゝ中ゝ一ゝの所ゝ
ゝしゝ乃きゝ

ゝ乃ゝ肩ゝ中ゝ　几董
中影ゝ中ゝ　四条毛除
隠蓑ゝ乃ゝ　自珍

[illegible]乃[illegible]ゆ[illegible]れ[illegible]て[illegible]れ[illegible]　雪居

養在深閨人未識

[illegible]り[illegible]と[illegible]ら[illegible]む[illegible]ぶ　江戸　成美

[illegible]ら[illegible]れ[illegible]酔中の詩[illegible]　几董

ゆ[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]れ[illegible]　蕪村

[illegible]情[illegible]む[illegible]ま[illegible]を[illegible]り[illegible]　召波

[illegible]下に猫白[illegible]て[illegible]を[illegible]む

[illegible]中[illegible]雞[illegible]　[illegible]を[illegible]り　蕪村

夏之部

[illegible]ら[illegible]く一[illegible]先[illegible]ら[illegible]ん[illegible]ら[illegible]　移竹

[illegible]の[illegible]を[illegible]更　衣　尾陽　暁臺

[illegible]ね[illegible]背中[illegible]ん　蓼太

[illegible]を[illegible]む[illegible]ん[illegible]ま[illegible]ん[illegible]ま[illegible]　いせ　樗良

[illegible]の[illegible]ま[illegible]　衣　百池

[illegible]と[illegible]

古[illegible]の[illegible]に[illegible]る　蚊　青原

[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ふ[illegible]　牡　鵜　太祇

[illegible]通[illegible]の[illegible]い扇[illegible]　青峩

[illegible]ち[illegible]夫[illegible]の子　蚊　維駒

燒乃越女ら吐血わかくまれ　召波

あるかなかあかいきかけて

鬼食の牡丹女来てもてもてきて　蕪村

ひかくきれ帰るを待てい嫁の系　几董

人つのかれ秋よ悔くくるを　大石　士川

給ふ為て為てうきをうる僕うる　菱湖

待宵の為にしむ来て絹給　定雅

紅花やいくるを拾子　蕪村

くくるを鏡図ゆ又るるろ　之兮

凱ひる

紅花や仏羅の白ひの胸ふれ　几董

寝いそきの懸をほくく　銀狮

一花二花牧屋ひくくふひ　春武

ほくく懸よ遠くる花紅の　二波

橋や懸ふ蓬をうる老二人　田福

牧屋をあてあるを翁う那　大魯

投てり牡丹ひるるる風情　春坡

情蕎

牡丹折しふう怒をかうき　大魯

屋敷乃ほくんや　天乃一方に　蕪村

鳥散餘花蕎

うるくくる鳥や系乃鶯よ　几董

梅扇の糸に咲ル桃の華　蕪子苑　嵐山
蛇苺て鶯く崖乃うつ糸ゆ　維駒
嵐山松の四月とふりにくも　松島　自屋
乃芝にあつ乃みと乃轍うゆ　隨古
くこれい胡蝶ゆ出る乃艸　江戸　登舟
ゆりの忘人もわつ乃花　うふ　成文
こうゆるゆを振く田うとゆ　几圭
彼岸乃うつりてひとり
小舟とゆ苗とうとて
汀乃なうゆ田植舟　曉臺
芥子花ゆ脫の衣乃ひとうゆ　也好

ふしと蓼も生くる淺瀬ゆ　李北史　寄節
邦くうゆ毎年の茅の花　来之
夕芝ゆ　みくふ乃ゆる芝の秋　楚秋
芝松乃芝ゆ　乃ゆ念仏講　几董

方丈石

打ちくゆいうくへ　蝸牛　懶夢
忘らゆ忘しうつう　太祇
掲牛　君うくへとまて　結城　雁宕
悲備にうれて竈ゆ　蝸牛　蕪村
清水芝芝ゆ
蕎麦ゆ芝ゆ　ゆとして　稜麦ゆ　丶

ちくさ咲し園のうけも　古経　雀英
夏の草も茂る大きく成に　有　吉原

有感

生て学ぶひとのこころも初茄子　几董
華を編うりふくろ着る水　維駒
岸も梅こと新スくふさそつて　呑獅
秋来乃うしろとるて田植水　雷支
ふる乙女も生えひやりと庭の古　江戸　超波

部外

都遠いうつもなしに田水　雀宮
牛岡へい出て美しる牧生うふ　如瑟

青稍ぬ丹つ丹ふ牧生水　閑陸
ち梅も女のすくる夜乃菜　太祇
ち梅も肩ちつる美人ふ　蕪村

湖面ア青カウレウ巳ア
黄ア ナンスト いつ

青うつし色ともふ黄梅水　几董
夏の月平陽乃岐のう衣　召波
走涼ア兵舟や夏の月　蕪村
ち子ち丹ち丹ち丹

[illegible] 道立
田乃[illegible]を[illegible]川[illegible]を 維駒
[illegible]人[illegible]滝[illegible]つ[illegible]も下[illegible] 移竹
[illegible]に[illegible] 管鳥

湖田未治

[illegible]園の[illegible] 明年
船[illegible]の[illegible]を[illegible] 立ヨリ 越史
[illegible]森乃[illegible] 文波
[illegible]に[illegible]菅[illegible] 大は 戸沼
[illegible]に[illegible]
[illegible]の[illegible] 舊村

[illegible]
都[illegible]の[illegible] 義仲寺僧 沂風
[illegible]又[illegible] 正巴
[illegible]乃[illegible] 石波
[illegible]園[illegible] 新[illegible] 超波
園[illegible]屋[illegible]深[illegible] 也有
深[illegible]園[illegible] 呂波
[illegible]子[illegible] 超[illegible] 維駒

人皆若[illegible]
[illegible]乃[illegible]屋[illegible]秋の竹 凡董
[illegible]乃[illegible]筋[illegible]

相行本の物ふちうしの雫　是岩
蓮ゝ雅小舟漕るゝ又　如菊
岩ゝ[illegible]ほ[illegible]こゝ不せ蓮乃雨　杉月
ゝ乱よ忘乃[illegible]を[illegible]　名彼
狗舟ゝ[illegible]と垂せて蓮ゝ　維駒

讀李新傳

厠ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　九董
鄙ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　雄三

納涼二句

汗入ゝ[illegible]を佛仏と[illegible]　我則
床涼[illegible]蓮歌の[illegible]　無村

蔦水仙顔ゝ[illegible]の青ゝ　道古
蔦ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　九董

相國樓ゝ[illegible]
維明水度の汗ゝ
筆美をゝ[illegible]

筆心乃[illegible]ゝ[illegible]
部分
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝの花野川ゝ　堂夏
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　五雀

脇起俳諧秋

春泥舎召波

栗に施す蘭を付く嵐哉　駒

三度新米の蕎麦の炊き移り　雄駒

きりぎりすの背中を踏み平　九董

島の中を駕のちからうつ　駒

鶯うつる手先ふるまふしかのまきて　駒

海雲ふかり昨夜はしら　駒

朔迄の升売の物すりの和　董

ものん炉の炉者ばかり　駒

うち猛む国車のまとをたれき　董

五車　十七

この月の青れ自ハ初くさ　駒

降ちとハ中ちと切ちる秋乃風　董

古笠ちりぬ小者こぼれ　駒

鞠丸ちと猫子行ちふ物を　董

法師をふぐるに和子の児　駒

法切し俳諧代ゝ移る世　董

ちち牛竹の敷保ちうつ　駒

茶ひとゝ老杜ちとうつ　董

尸ゆうちと杖し母乃旅　駒

右手ちと山法ちとちと手　丶

輝ちちを咨こ河ほく　董

[illegible]と記しとゝまるなり　駒
流香拾て懼る祚　乃　董
[illegible]ある女こゝろのひさしきに　駒
廊乃月日をゝくり[illegible]　董
こゝろの移ゆ[illegible]の面　駒
[illegible]年ひとゝ哭く翁丸　董
[illegible]井乃皮竜脊負　駒
[illegible]　董
[illegible]　駒
きゝ乃跡月の[illegible]　董
[illegible]の[illegible]よ　董

[illegible]乃果し　古市　駒
[illegible]こんの[illegible]をあつよ　〃
宮位[illegible]　董
別殿を[illegible]乃林[illegible]　〃
[illegible]　駒

其二

白馬[illegible]て[illegible]の秋　維駒
千[illegible]て[illegible]　百池
乃[illegible]の[illegible]　鐵僧
[illegible]

古々乃伊ゑ　　駒
鬱そ　　也
翌日乃や　　僧
れ乃き市の　　駒
望人と女　　池
熟よ病と　　僧
聲に王孫を　　駒
日毎乃白の　　池
堺乃伊勢の　　僧
寄と支婦　　駒

変とこゝ乃育月　　僧
保もゝとこの　　駒
やの口乃ち入の　　池
ら乃ゝと鶯魂の　　僧
高聲人乃碁中　　駒
うつゝ抱ゝ膝ら　　池
やうゝ乃ゝ青乃秋　　僧
晃竜ゝ翁ゝ面の　　駒
うゝ乃ゝ伊川ゝ　　池
三聲峰ゝいつち猿（シラ）のゝ　　僧
やゝゆゝゝ弁濱乃訪　　駒

[illegible]　池水
[illegible]　僧
[illegible]　駒
[illegible]　池
天王の[illegible]肥て　僧
[illegible]　駒
[illegible]　池
入々の[illegible]　駒
[illegible]　僧
[illegible]　池

秋之部

[illegible]　青義
[illegible]　江戸　有義
[illegible]　呂波
[illegible]　千代尼
[illegible]　起波
[illegible]　道立

病起

懶[illegible]　無村
角力[illegible]　也好
[illegible]　一差

彩ぬ切篭乃縁てあふの風　凡董
傾城て脱ん世乃り相撲丸　松化

市中

踏るやゆ夕日乃くれて松くらふ　火魯
うゆく雲乃ゆくにまき踏ふ　召波
細腸乃法師てすろふ踊うふ　蕪村
蹴乃八千代網引一座　鶯国
咲てうれ墓のわられ乃毛　美洲
ちちちちて老に乃て老に乃り　洲柳
由井乃浦乃ちちり
和歌やゆ法乃ふ旅乃艸　太祇

城石川ふ水ふ後とうく乃り　田梅
後て出て山田ふ寄る蓑うふ　二貞
蓑乃の潜りて深る蓑の芝　蕪村
文塚碑の水ふ武蔵野くれり
蓑ふやうく紅ゆ花にまて　雁宕
厂川やゆ伊度乃しらしに　自笑
紅踏て下りて雁鳴　蕪村

旅中

川音やゆ馬ゆ入て乃音　太祇
舞て乃り乃先ゆ馬の尾　凡董
とうたて丹波の熱乃竹ゆ　維駒

衣うつ音の風乃小寒うれ　大石　士喬
塩跡の一隈うつ　蕎麥乃花　雅因
大名をよそうて後徒の月秋小　田福
名月や戸に建つる藏引ん　江戸　多女

三年うつ
院しのうた　名月や鬼の糞乃おうつ　雁宕
名月の明る秋日やいせ乃海　超波
名月や新作を月秋小　百池
うつ文をたに月清秋明る　管鳥
裏夜　樗良

名月や蔦うつ山の秋　嵐山
家寒さ金ふく山の秋　鶴英
合点て傾城買ひやあるの夕　田示　也竺
いつもうつ食の聲や秋のうれ　春坡

老懷

去年ちの文懸ひを秋の雪　蕪村
新酒ふ月の明り乃美忘ふ　八月　青蘿
邪人皆ちうて後の月ん　維駒
雁ノ乃新や元年十三秋　成文
きりしてを明清ふ月　二柳
いふりふ清ふ乃の月

稲の葉乃もちのつゆ　月溪
月雪中ふるもうれしき　卧央
拾ひあつめて肩にそむ　☆きを
袋うそ汐をくうんしう　来雨
そうのつゆふきくふくせん　百池

雨中九日病起

袋ゝ下結乃ふるよにのわりそ　鍼僧
鼻ゝわれのそうりの菊　九圭
白菊中ふつふのうつり　辰花 江涯
茄子りゝ葛ふ合乃こゆるふ　高砂 布舟
林　あるまゝ竹剣ひきうふ　佳棠

ふうゝてみゝふにあくる胡蝶ふ　紫鹿ト
市小家ゝ火ゝせの礼や秋の風　維駒
夏ゝとふゝ造れい虎ふ弾ふふ　也有

遊仁和寺

君ゝ中ふのゝをあ葉物　几董
掃音ゝ生ゝて淋ゝ夕ゝち　蓼太
白行ゝ逆ゝ谷ゝれゝ雨ゝふ　嵐山
谷あ葉ゝ夕りとゝうちの犬　烏西
あふゝふゝれのあなゝあ葉ふ　橘仙
うゝ雨ふあくれふゝふゝ葉うふ　瓦全
うゝ雨ふ杉ふゝうれハ日も定　暁臺

探影をゆく

撰出して林きゝ色やちゝ稀　鼓舌

酒よなり餅に茶粉の稲垂水　左海　吳逸

かゝしと外出よ行るゝるゝ　芭蕉庵下　松宗

明ケやまゝ花色の羽戸つゝろむ　石波

雅子の二人寂しよ夜さゝ　旨原

雨風乃日和ゝ雀さゝ夜さゝ　大魯

図両の襖うよ今さゝ行さゝ　魚官

花さゝさゝ小冠者弁ゝ　蕪村

無世さゝ知行庵うゝて

咲の森さゝ九月懸　曉臺

芋の秋ちゝ子儀稀中ゝ　臥哭

四五反乃きゝ歳波さゝ乃秋　湖岳

明秋中蹴稀の塔さゝ木葉水　麥水

稀業のさゝ九中よ乃雲　維駒

牧人さゝわゝ

木曽路ゝ行さゝ秋ゝ　蕪村

九月さゝ須广の秋　几董

さゝ乃さゝ

古ちに行さゝ會中九月　雁宕

閑居

小鍋買さゝ冬の夜さゝ　几董

冬之部

雪乃しの[illegible]ゆきの[illegible]ゆきの[illegible]れ　太祇
初しぐれ降もゆれとふ鼻ぐり　千代尼
[illegible]ぐれ降る濡[illegible]ゆきの[illegible]ゆ[illegible]る　琴堂
[illegible]も降る[illegible]乃[illegible]旅[illegible]　帰身
[illegible]ゆき雪[illegible]　九董

兼簷

初冬や[illegible]ゆ[illegible]乃糸　石收
傘[illegible]遠[illegible]十[illegible]　素文
家[illegible]に[illegible]十[illegible]ふ　蓼太
門前の[illegible]十[illegible]　月居

鹿[illegible]人[illegible]し[illegible]
旅[illegible]思[illegible]冬[illegible]　道立
冬籠[illegible]乳乃眼を[illegible]　正巴
　　蕪村

負郭

四ッ谷[illegible]馬糞の[illegible]枯[illegible]　青峩
又或日扇[illegible]　暁臺
冬[illegible]の韮を刈　蕪村
[illegible]菜[illegible]　雪屋
菜の[illegible]　鍊僧
黄雪[illegible]菜の[illegible]　維駒

水蕉名出

[illegible]　　凡董
[illegible]　　渡牛
[illegible]　　社奴
[illegible]　　熊三
[illegible]　　鶴汀
[illegible]　　也好
[illegible]　　秋来

[illegible]　　蝶夢
[illegible]　　白石　乙二
[illegible]　　伊舟　東瓦

四五羽立てしたりたる洲の鄙　道立
間とゆく沖のちらち和ちい星　凡董
ちらちらと加茂川鄙る蒲団　無腸
青の月い風もふるて古蒲団　百池
うつる火と四方にたる清水　我則
持ちるも一茎小ふ桐大桶　心頭

尼にあり一句
袈裟とゆ[illegible]ふ[illegible]深ゆ巨燈　千代尼
山もの里とゆてとゆうる　廣島　風律
冬の月中とけてい来る志れち　浪花　一蔵
凍やしゑ人行ひつる春乃雪　伏水　雪喬

馬蹄 今はしい雪の酒屋 成文

雪まろ石大きふりつぶ成に行り 甫尺

大ゆきや大石通る四つさろと 越前 梨一

ところし雪に中ちり夕ぐれ 蘭更

ふるく小雪こぼしの雪の上 銀獅

雪人とまるてゆくと雪の石 之兮

雪の戸にたちけて雪第うれかな 佛仙

大雪の雪にのこるかいた

かくそこも人てゆくしの

初雪のふるしにけりの州の堂 几董

つく雪ふん 宮(カタチツクリ) ふ 義ト笠 蕪村

古枝と猪食れ雪乃くれ 其成

ゆるる有中ゆるゆ跡ゆ馬盟 仙堂 仮宮

ふりたる氷まる筆と集ゆり 大魯

古硯銘

純きもの先氷る冬る硯う邪 几董

之義也

為まる鴨ふ之ゆ行の雪 無山 莨堂

ひくき中葱ゆ川を踏ふる 古貢

ふふ氷ゆ中ふ入ゆ古ゆ、 暮蓼

氷の面ゆ入日ゆ寒の雪 春香

鴨ふふに城下ゆ殿ふ 魚赤

羽とあつまれる小倉の[illegible]なるべし　斗文

古五

[illegible]　蕪村

[illegible]　子曳

[illegible]　大名　守明

[illegible]　月溪

[illegible]　丹波　仙魯

[illegible]　奮国

つきんとしてそこらなる　宮津　路景

旅人の[illegible]　佳棠

[illegible]西へ[illegible]　佳則

[illegible]の[illegible]　士川

雪中

[illegible]　通亞

[illegible]　名攻

[illegible]　青峨

[illegible]　雁宕

[illegible]　伊勢　米屋

[illegible]　維駒

[illegible]　文梁

[illegible]　太祇

[illegible]　蕪村

除夜遊青樓　　九董

ちらしやりてうを立と奪れ今り
ふつうき月の抽中　文三十日　　移竹

臨起俳諧会

五車の反古たきぬ　　維駒
りりりりと銚うつ月　　鍬僧
部屋何焚やん婆　　卧夭
流れ手紙のしらいとち　　義村
枝代を一代ちと宮ちと　　百池
物乃を車ゥ先口と利ク

彩色の雲を仏ちら池　　也好
ちちちちくくなの翻　　春坡
製やふふのち袴　　正巴
家と奪れり反きふ　　之兮
ちちしし呼弁の伏凡色　　道立
小荷結ふ馬嘶ん　　我則
ふしも稽を出ふ月　　自笑
ちちを須ち胸と病ム秋　　佳棠
小春の家のつ伏旅ふ　　湖柳
萬年ふは紅ちし　　湖岳
反古ふ五車のちよふのち　　九董

[illegible]れ[illegible]の吹乃庵　田福

右一巡　捻香

[illegible]の[illegible]枯尾花

又うき年乃[illegible]

又うきうの[illegible]枯[illegible]　維駒

[illegible]開白道長[illegible]法成[illegible]

乃序堂つ[illegible]に国[illegible]の受[illegible]

[illegible]千本兎石の[illegible]乗[illegible]舟車[illegible]

運[illegible]つ　金根[illegible]

調[illegible]の[illegible]の傳威義異[illegible]梵音[illegible]

の聲を賀[illegible]讃を編[illegible]年人衆人糸竹笛[illegible]

[illegible]

[illegible]

拾五年の旧藏本を書の所とするの所の所
相反する所をもとめ[illegible]
を[illegible]書せんとなり[illegible]
[illegible]と[illegible]
功法見佛聞法の[illegible]
乃法[illegible]
[illegible]
平等乃追善[illegible]

天明三癸卯歳十一月

春夜樓晋明書

蕪村七部集後編 春夜樓[illegible]著

文化六年己巳正月發行

中之喪[illegible]入町

浦井徳右衛門

京都一条下ル町

平野屋[illegible]

寺町二条[illegible]

[illegible]

大坂心斎橋[illegible]